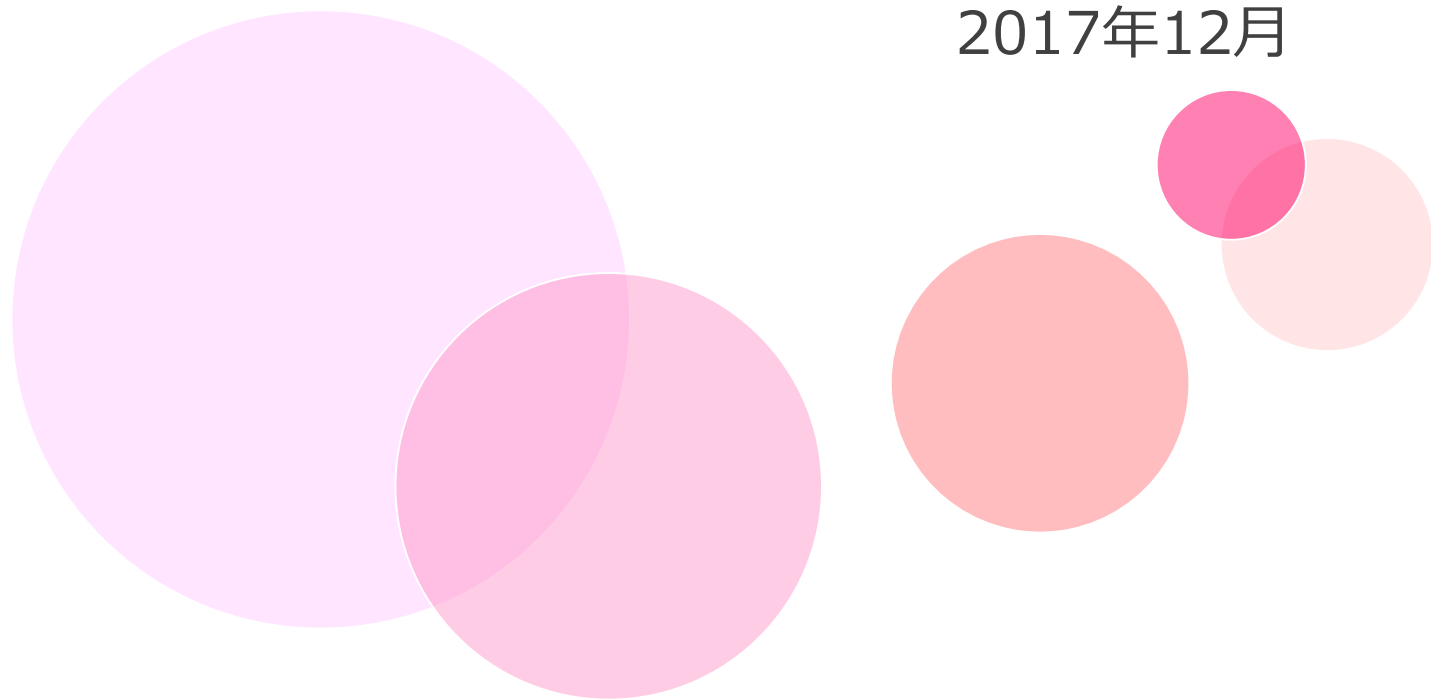


「自然な出会い」は本当に幸せになれるのか

～恋愛困難時代を乗り越える「自律的出会い」の提言～

リクルートブライダル総研
2017年12月



昨年、「少子化課題における解決優先度に関するレポート」を発表した。そこでは、日本が抱える大きな課題の一つである「少子化」を解決するためには「恋愛意欲のある人」にアプローチをし、「恋人がいる状態」を実現させていくことが最も効果的であるという提言を示した。今回、そのレポートを踏まえた上で恋愛のスタートである「出会い」に着目し、提言したい。

昨今、「自然な出会いがいい」という話を多くの未婚者から聞く。自分の置かれた環境下で、日常的に生活をしながら、理想の人と出会い交際に発展していく。つまり、あえて出会おうと行動するのではなく、自然な流れで出会うということである。しかし、本当に大切なことは「誰と出会うか」である。にもかかわらず「どこで出会うか」にこだわりすぎていて、大きな機会を逃しているように思う。

今回のレポートは、過去我々がさまざまな角度から実施した恋愛や結婚にまつわる調査を中心に分析し、まとめたものである。あくまで「出会い方」「出会う場所」に焦点をあて、特性を導き、提言した。昨年の「少子化課題における解決優先度に関するレポート」とあわせて、「少子化」という社会課題解決の一助になればと思う。

**出会い方ごとに特性があり、“自然な出会い”だけに固執する必要はない。
“自律的な出会い”も幸せな結婚につながる。**

大切なのは「どこで出会うか」ではなく、「誰と出会うか」。

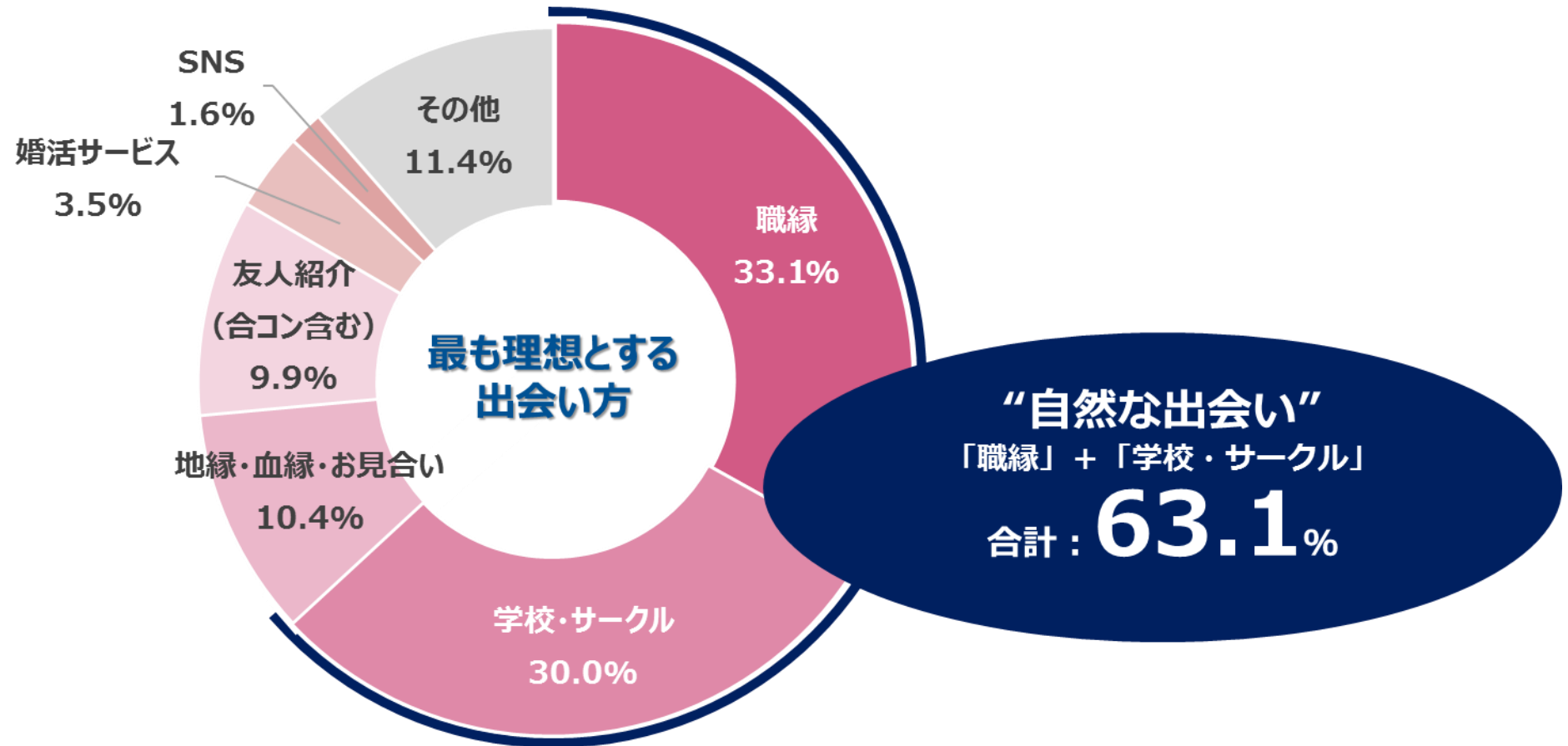
- ✓ 6割以上が「職縁」「学校・サークル」といったいわゆる“自然な出会い”を理想としている
- ✓ 人の「幸福」に影響を与える要因は「自律的な選択」
- ✓ “自然な出会い”と“自律的な出会い”（婚活サービス）を比較すると、結婚後の満足度には大きな差がない
- ✓ “自律的な出会い”は、「結婚前後でのギャップが少ない」「理想との合致度が多く項目でほかの出会い方より高い」「結婚までの期間が短い」というのが特長
- ✓ “自然な出会い”は、「予備知識を持って交際に進む」「周囲に堂々と言える」が特長
- ✓ “自律的な出会い”の代表である「婚活サービス」は、今後広がっていく可能性が高い
- ✓ 結婚意欲があるならば、自律的に出会いの機会をつくる「婚活サービス」を積極的に活用することは有効

「出会い」の現状

現状、恋愛意欲があるものの、恋人がいない人は推計約799万人と多い。意欲があるにもかかわらず、実現に至っていない現状がある

20～40代未婚者：1875万人	
恋愛意欲あり 1204万人（64.2%） 恋人がほしいが、いない人:799万人（66.3%）	恋愛意欲なし 671万人（35.8%） ※どちらでもない 21.4%+意欲なし 14.4%
恋人がいない（交際経験なし） 294万人（24.5%）	恋人がいない（交際経験なし） 262万人（39.1%）
恋人がいない（交際経験あり） 504万人（41.9%）	恋人がいない（交際経験あり） 225万人（33.6%）
恋人がいる 405万人（33.7%）	恋人がいる 183万人（27.3%）

恋人とは自身の置かれた環境下で出会う“自然な出会い”を望んでいる



N:4200 (未婚者)

「恋愛・結婚調査2017」(リクルートブライダル総研)より

最も多くの人々が望む「職縁」について、その理由をみると明確な理由はない

職縁での出会いを望む理由TOP 5

1位	理由はない・なんとなく	26.5%
2位	一般的・普通だから	22.2%
3位	相手の性格について深く知れるから	18.2%
4位	頻繁に相手と会えるから	15.5%
5位	自分と同じ価値観の人と出会えるから	10.9%

N:1390（職縁を最も理想とする未婚者）

「恋愛・結婚調査2017」（リクルートブライダル総研）より

多くの未婚者が「恋人はほしいがない」という状況の中、「職縁」や「学校・サークル」といった現状の環境下での出会い＝“自然な出会い”をなんとなく望んでいる。しかし、本当に“自然な出会い”だけが幸せな出会いなのだろうか。そして“自然な出会い”以外の出会いに目を向けることで、恋人がほしい人の実現可能性が広がるのではないだろうか。

まずは、ベースとなる「人の幸せ」に影響を与える要因から考えていく。

「幸福」に影響を与える要因は？

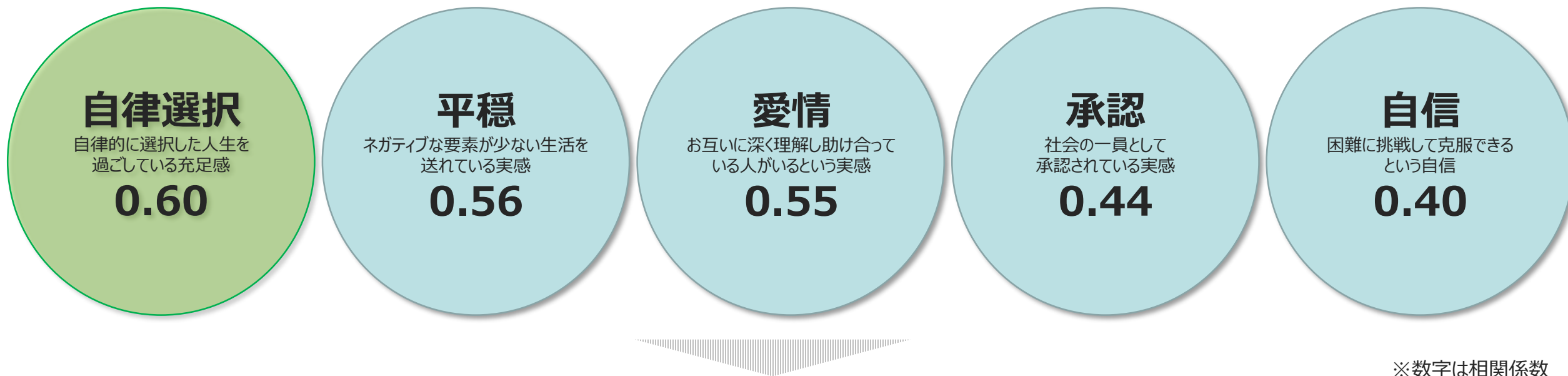
※詳細はP36

幸福に最も影響を与える要因は「自律選択」

「幸福」はどんな要因に影響を受けるのかを分析する。

現状の自己評価30項目を因子分析すると「幸福」に最も影響を与える要因は、「自律的に選択した人生を過ごしている充足感」である。

「幸福」と自己評価因子との関係



※数字は相関係数

多くの人生の分岐点で自律的な選択をしているかが「幸せ」に影響を与える

「ライフイベント調査2015」（リクルートブライダル総研）より

「出会い方」による特性

次に、恋人や結婚相手との「出会い」について考える。

「自律的に選択をする出会い」とは、自ら出会いの機会をつくり、出会いの場所を見つけること。その代表は「婚活サービス」での出会いと言える。ここでは「婚活サービス」での出会いに着目し、“自然な出会い”（「職縁」や「学校・サークル」）と比較しながら、それぞれどんな特性があるのかをみていく。

＜自然な出会い＞

**「職縁」
「学校・サークル」**

現状の環境下で自然に
相手を見つける出会い方

＜自律的な出会い＞

「婚活サービス」

自律的に相手と出会う場所を
創出する出会い方

出会い方ごとにみる結婚前後の満足度ギャップ

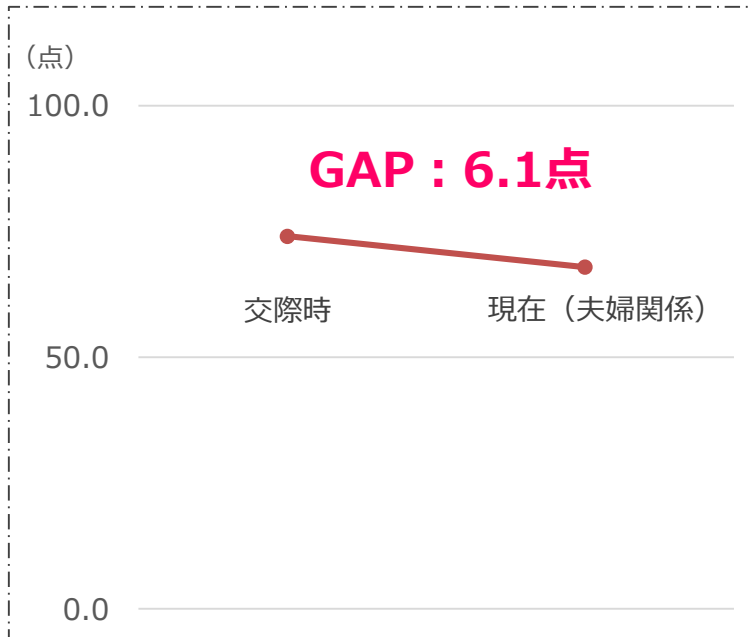
※詳細はP37

「婚活サービス」での出会いは、結婚前後の満足度のギャップが少ない

ベースとなる点数の水準は出会いごとであり変わらない。交際時点から現在（夫婦関係）の点数変化をみると、減少幅が最も少ないのは「婚活サービス」での出会い。

「交際の点数」と「現在の夫婦関係の点数」との比較

職縁で出会って結婚した人
(n:480)



学校・サークルで出会って結婚した人
(n:480)



婚活サービスで出会って結婚した人
(n:480)



「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

「婚活サービス」での出会いは、自分の理想に合致する可能性が高い
「婚活サービス」で出会った恋人の方が、「自然な出会い」で出会った恋人よりも、自分の希望どおりに兼ね備えている項目が多い

出会いの方法別今の恋人が自分の希望に合致しているか（3種類の出会い方のうち、合致する割合が最も高い項目数）

職縁で出会った恋人
1項目／28項目

学校・サークルで出会った恋人
12項目／28項目

婚活サービスで出会った恋人
15項目／28項目

	「職縁」で 出会った恋人 n=	「学校・サークル」で 出会った恋人	「婚活サービス」で 出会った恋人	(%)
出生順位（長男、長女、次女、次男など）	408	332	136	
性格が合うこと	1.8	1.5	0.9	
あなたに対する愛情	40.6	50.6	43.7	
容姿	26.7	35.0	30.6	
共通の趣味	24.7	27.1	25.1	
お金に関する考え方（金銭感覚）が合うこと	13.5	26.6	21.1	
家事の能力	15.7	20.7	17.0	
体の相性	14.4	19.0	17.4	
学歴	17.1	17.7	17.1	
親を大切にするなど、育ってきた家庭環境の良さ	5.5	15.6	7.9	
時間に関する考え方（時間感覚）が合うこと	8.8	14.8	14.5	
自分が属するコミュニティ（家族や友達関係など）と相手の仲が良い	8.8	13.2	11.8	
家柄の良さ	2.2	5.9	3.4	
人柄の良さ	1.9	3.3	2.3	
食の嗜好の相性	60.0	68.3	72.3	
自分の仕事への理解	14.0	16.6	27.2	
恋愛に関する考え方（恋愛観）が合うこと	18.0	22.5	26.3	
収入（年収）	13.6	21.4	22.6	
職業	8.8	9.1	21.7	
恋人の年齢	8.1	7.9	21.7	
二人でともに過ごす人生に関する考え方（人生観・将来設計）が合うこと	10.2	14.9	21.0	
結婚に関する考え方（結婚観）が合うこと	14.5	15.5	18.0	
望む家族構成など家族・家庭に関する考え方（家族計画）が合うこと	9.7	15.2	17.1	
育児・教育方針など子育てに関する考え方（子育て観）が合うこと	7.4	8.5	13.0	
貯蓄	5.2	5.7	10.4	
「男は（女は）こうあるべき」など、男女に関する考え方（男女観）が合うこと	6.1	6.3	8.2	
親との同居に関する考え方（同居意識）が合うこと	4.6	5.0	7.5	
相手が属するコミュニティ（家族や友達関係など）と自分の仲が良い	2.5	3.1	5.8	
その他	1.8	2.6	4.0	
特になし	0.2	0.0	0.0	
	20.0	10.0	12.1	

※「その他」「特になし」は除く

出会い方による結婚までのスピード

※詳細はP39

「婚活サービス」は、結婚までの期間が短い

交際開始から結婚までの期間

職縁で
出会って結婚した人
(n:480)

36.1カ月

学校・サークルで
出会って結婚した人
(n:480)

48.6カ月

婚活サービスで
出会って結婚した人
(n:480)

19.8カ月

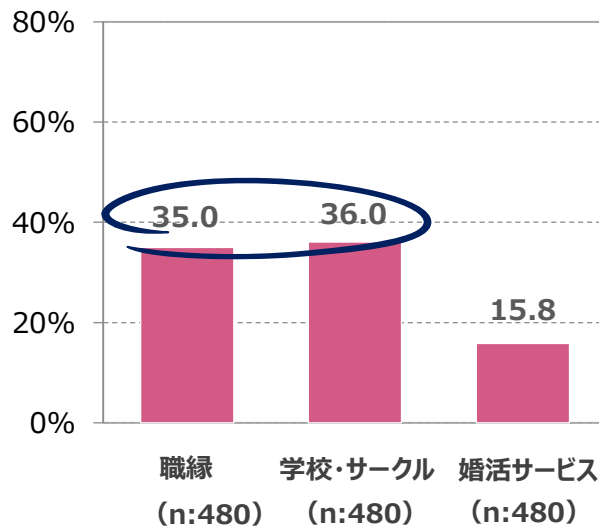
「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

出会い方に応じて、相手を知るプロセスが異なる。「職縁」「学校・サークル」は予備知識を持って交際が始まり、「婚活サービス」は交際の中で相手の良い点を見つける交際

出会い方ごとの特性

“自然な出会い” 予備知識型

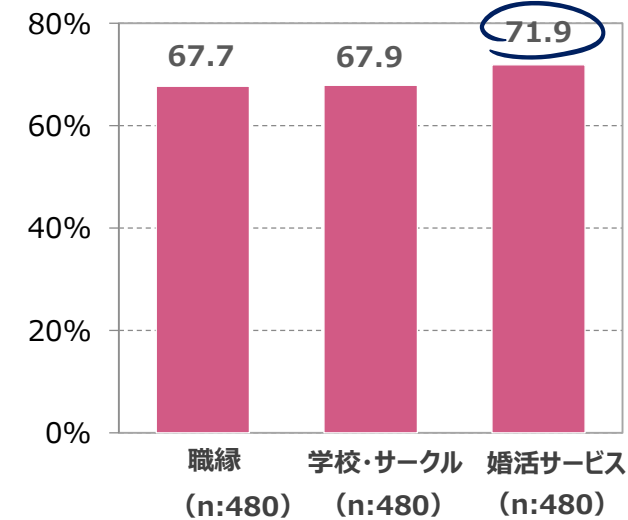
【交際前から相手の性格を分かっていた】



※「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計 (%)

婚活サービス 加点方式型

【相手のことを知る楽しみがあった】



※「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計 (%)

「出会い方の違いによる影響性調査2017」(リクルートブライダル総研)より

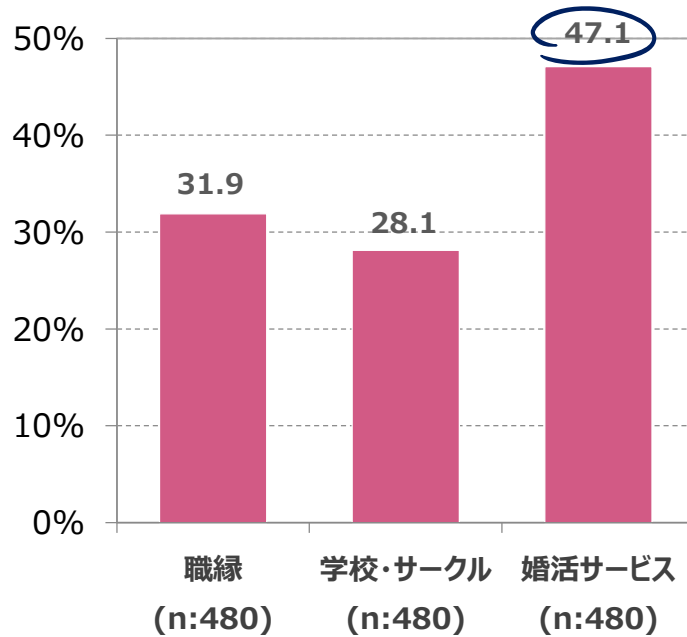
出合い方ごとの結婚への進捗確認の状況

※詳細はP42-44

「婚活サービス」は結婚を前提にしているため、安心感がある交際。また、「職縁」は結婚相手としての判断がつきやすい

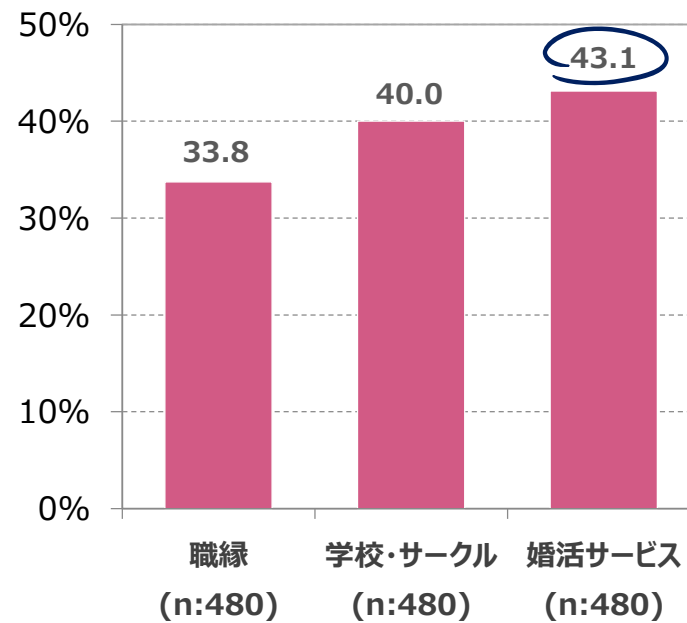
出合い方ごとの特性

【交際前から結婚意志の有無を知っていた】



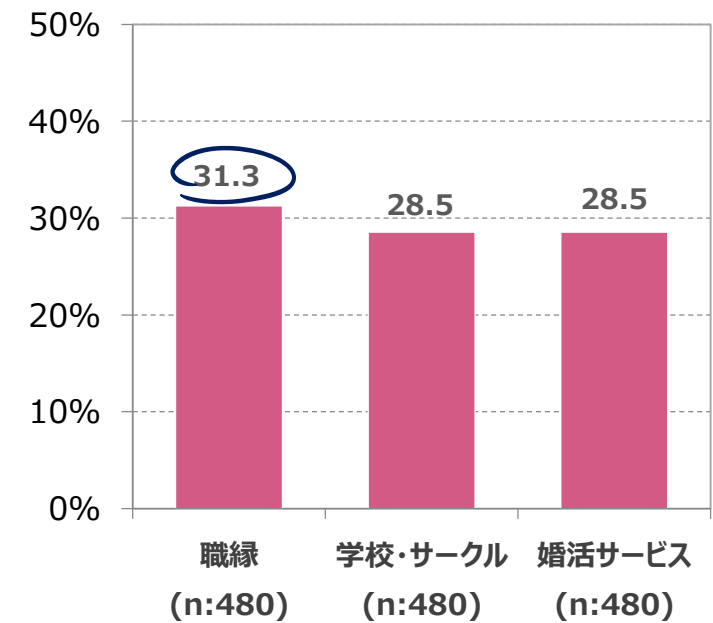
※「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計 (%)

【結婚に向かっている安心感があった】



※「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計 (%)

【結婚相手として適しているかどうか、すぐに判断がついた】

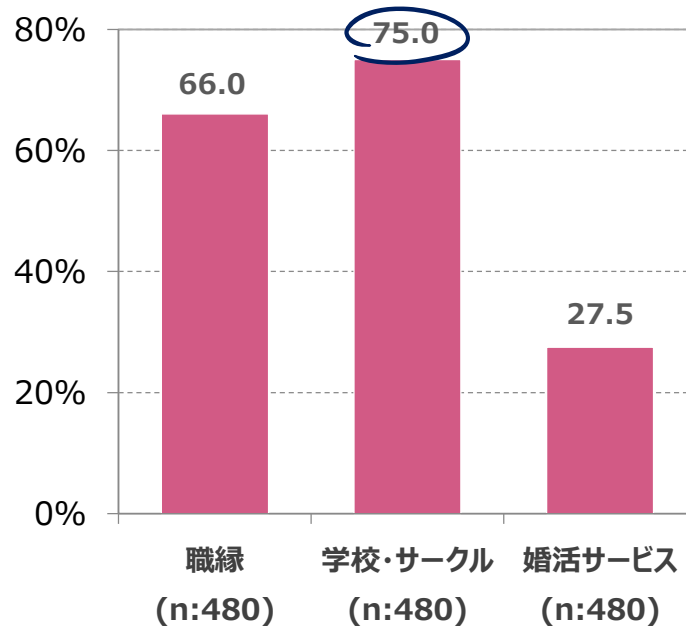


※「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計 (%)

「学校・サークル」は親や友人に堂々と言える。また「学校・サークル」「婚活サービス」は、周囲に気兼ねなく交際できることも特徴的

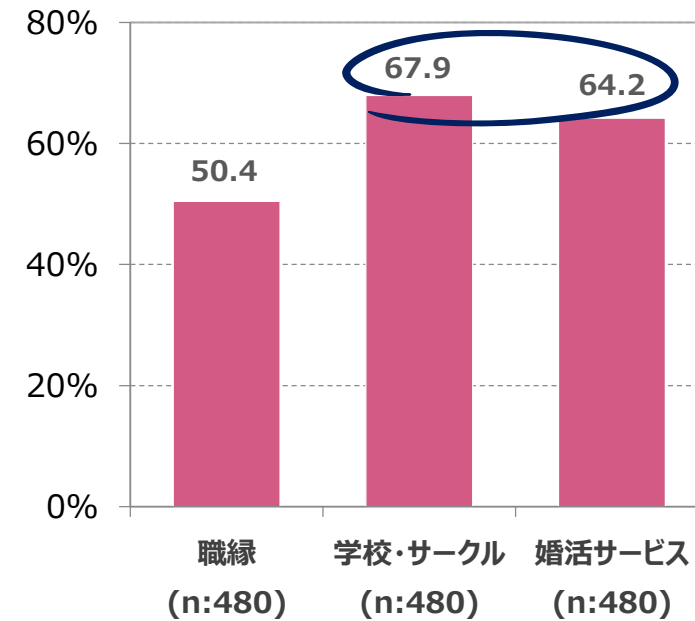
出会い方ごとの特性

【出会ったきっかけを親や友人に堂々と言えた】



※「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計 (%)

【周囲に気兼ねなく交際できた】



※「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計 (%)

出合い方ごとの特性まとめ

＜出合い方ごとの特性＞

1. どの出合いも、結婚後の満足度には大きな差はないが、結婚前後でのギャップが少ないのは「自律的な出合い」
2. 「自律的な出合い」は理想との合致度が多く、項目でほかの出合い方より高く、結婚までの期間が短い
3. 「自然な出合い」は予備知識を持って交際に進み、「自律的な出合い」は加点方式で進む
4. 結婚へ進んでいる実感を得やすいのは「自律的な出合い」
5. 「自然な出合い」は周囲に堂々と言え、「自律的な出合い」は周囲に気兼ねなく交際できる

出合い方ごとに特性があり、幸せな結婚を考えたときに“**自然な出合い**”に固執する必要はない。
自律的に出合いの機会を創る**「婚活サービス」**を活用することは有効な解決策である。

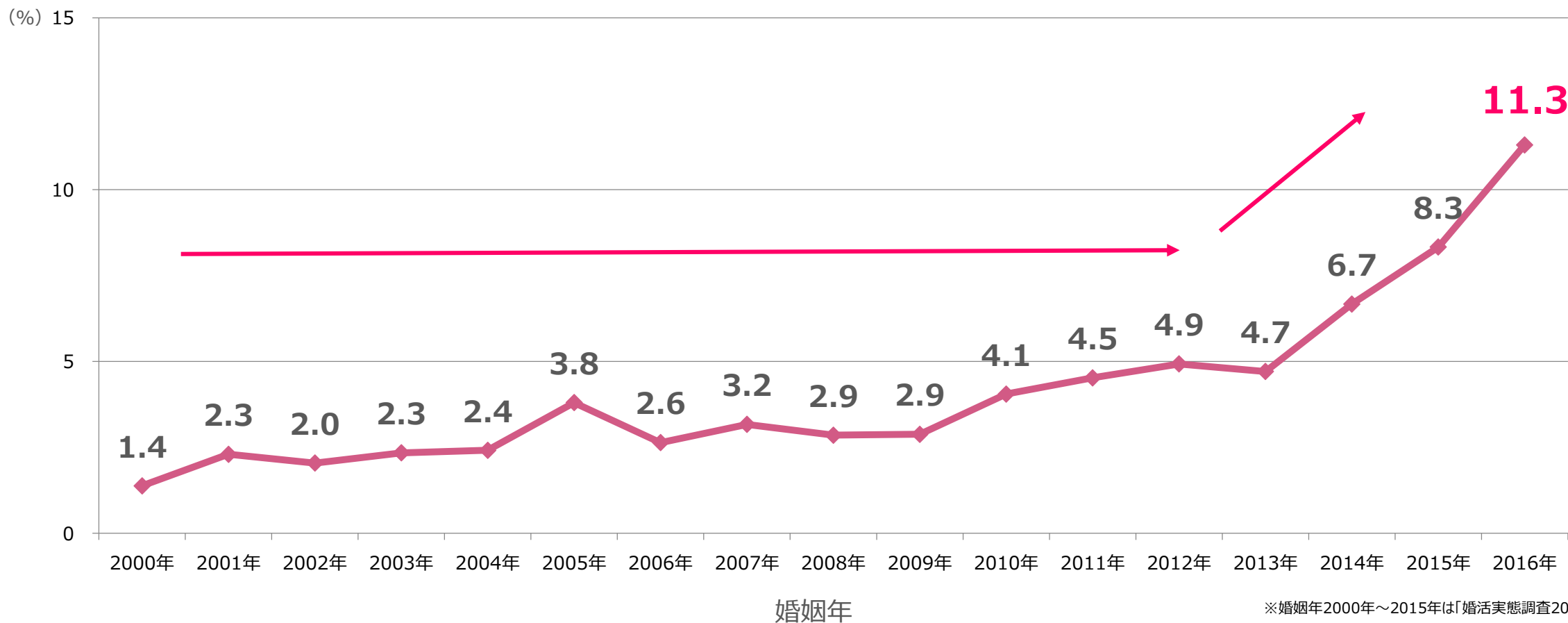
婚活サービスの実態

婚活サービスの現状を確認し、今後の状況を考察していく

婚活サービスによって結婚した人の割合

婚活サービスによって結婚した人は年々増加しており、2016年は11.3%であった

婚姻年別婚活サービスによって結婚した人の割合

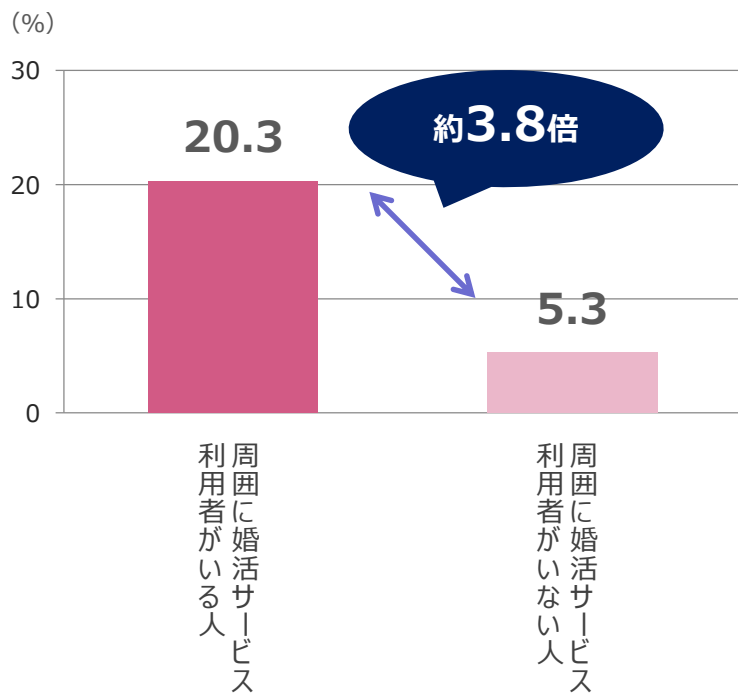


婚活サービス利用における、周囲の影響

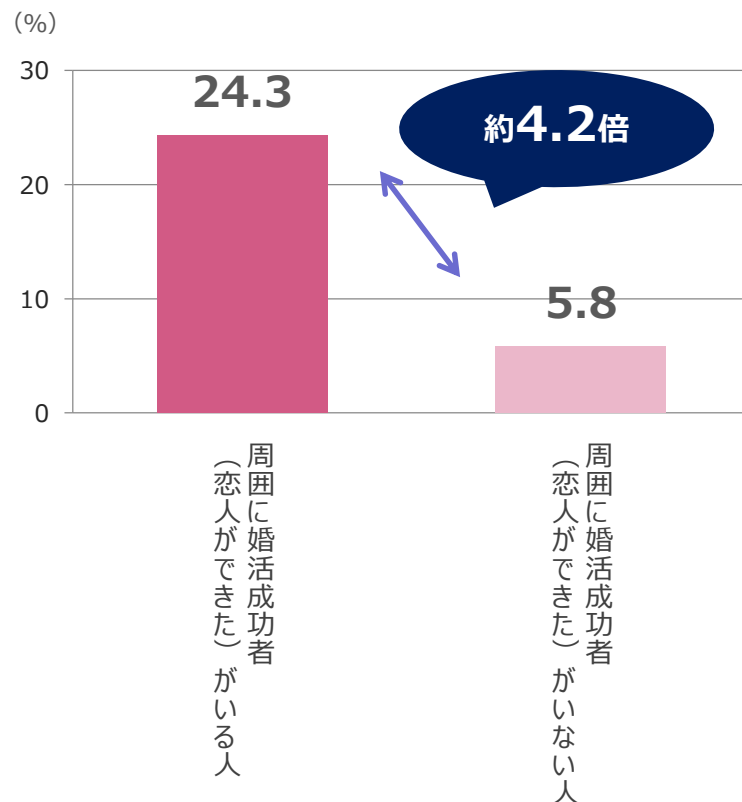
周囲に婚活サービス利用者や成功者がいると、利用する割合が高くなる。今後、加速度的に広がる可能性がある

婚活サービス利用経験割合（周囲の利用状況別）

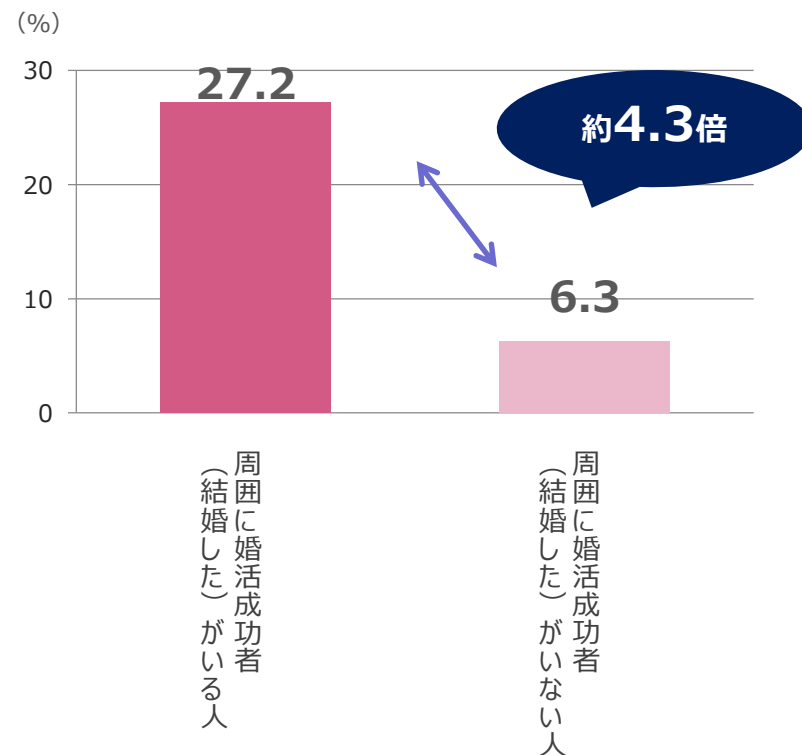
【周囲に婚活サービス利用経験者がいるかいないか別】



【周囲に婚活サービスで恋人ができた人がいるかいないか別】



【周囲に婚活サービスで結婚した人がいるかいないか別】



※「婚活成功者（恋人ができた）」＝婚活サービスを通じて恋人ができた人

※「婚活成功者（結婚した）」＝婚活サービスを通じて結婚した人

「婚活実態調査2017」（リクルートブライダル総研）より

婚活サービスに対するイメージは？

※詳細はP47・48

さらに、若い人（20代）ほど婚活サービスに対するイメージはポジティブであり、今後、利用者が
増える可能性が高い

婚活サービスに対するイメージ

「婚活（恋活）サービス」で見つけた恋人とは、
趣味や関心事が合いそう

今後、「婚活（恋活）サービス」を利用する人は
周りで増えていきそう

「婚活（恋活）サービス」を利用すると、おおむね
恋人を見つけることができると思う

「婚活（恋活）サービス」では、自分の理想の人
に出会えると思う

20代

37.6%

33.0%

26.6%

17.5%

30代

25.7 %

29.9 %

14.6%

14.7 %

40代

29.4 %

23.6 %

18.0 %

13.8 %

- ✓ 周囲に婚活サービス利用者や成功者がいると利用割合が高い
- ✓ 若年層の婚活サービスへのイメージがポジティブ



今後、婚活サービスの利用や、
婚活サービスにより結婚する人は増えていく可能性は高い

現在、恋愛の意欲があるものの、なかなか理想の相手と出会えないという状況が広がっている。一方、多くの人が職場や学校など、いわゆる“自然な出会い”の場で、相手とめぐり会うことを、なんとなく願っている現状がみえた。しかし、出会いの本質は、「どこで出会うか」よりも「誰と出会うか」である。実際、“自律的な出会い”の代表である「婚活サービス」での出会いも「結婚前後のギャップが少ない」「理想と合致する項目が多い」など多くの特長があり、「有意義な出会い方」であることが確認できた。つまり、幸せな結婚を希望する場合、出会う場所、出会い方に固執せず、自律的に行動していくことで可能性が大いに広がる。さらに、それを社会的に応援していくこと、広げていくことで、出会いがより活性化し、幸せな結婚が増えていくのではないだろうか。

参考資料 (appendix)

本レポートでは、下記調査のデータを使用した

■ 恋愛・結婚調査2017

- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2017年9月22日（金）～2017年9月24日（日）
- 調査対象：全国の20～49歳の男女（結婚経験のない独身者のみ）
- サンプル数：4,200人（未婚者の性・年代別の人口構成に合わせウェイトバックを実施）※人口構成比：平成27年総務省統計局国勢調査より

■ 出会い方の違いによる影響性調査2017

- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2017年3月24日（金）～2017年3月28日（火）
- 調査対象：結婚経験者：直近10年以内に入籍した20～49歳の男女（現在の婚姻状況は問わない、死別は除く）
- サンプル数：2,880人

■ ライフイベント調査2015

- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2015年9月25日(金) ～ 2015年9月28日(月)
- 調査対象：全国18～69歳の男女
- サンプル数：3,093件

■ 恋愛・婚活・結婚調査2015

- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
 - 調査期間：2015年9月25日（金）～2015年9月28日（月）
 - 調査対象：全国の20～69歳の男女（既婚者・独身者問わず）
 - サンプル数：5,000人（性・年代・未婚既婚別の人口構成に合わせウェイトバックを実施）※人口構成比：平成27年総務省統計局人口推計・平成22年総務省統計局国勢調査より
- ※20～49歳の独身者男女に絞って集計を実施

■婚活実態調査2017

【1次調査】

- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2017年5月16日（火）～2017年5月23日（火）
- 調査対象：全国の20～49歳の男女
- サンプル数：50,000人（調査にて114,499人を回収し、未既婚×性別×年代状況別の人口構成に合わせ50,000人を抽出した）※人口構成比：平成27年総務省統計局国勢調査より

【2次調査】

- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2017年5月19日（金）～2017年5月23日（火）
- 調査対象：共通条件：全国の20～49歳の男女で現在独身者 ※結婚経験者（離別・死別）含む
個別条件：婚活サービス利用者（現在利用者・過去利用者）：直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人
婚活サービス非利用者：「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人
- サンプル数：2,400人（婚活サービス利用有無・性別・年代・未婚状況別の人口構成に合わせウェイトバックを実施）※人口構成比：平成27年総務省統計局国勢調査より
※20～49歳の独身者男女に絞って集計を実施

■婚活実態調査2016

【1次調査】

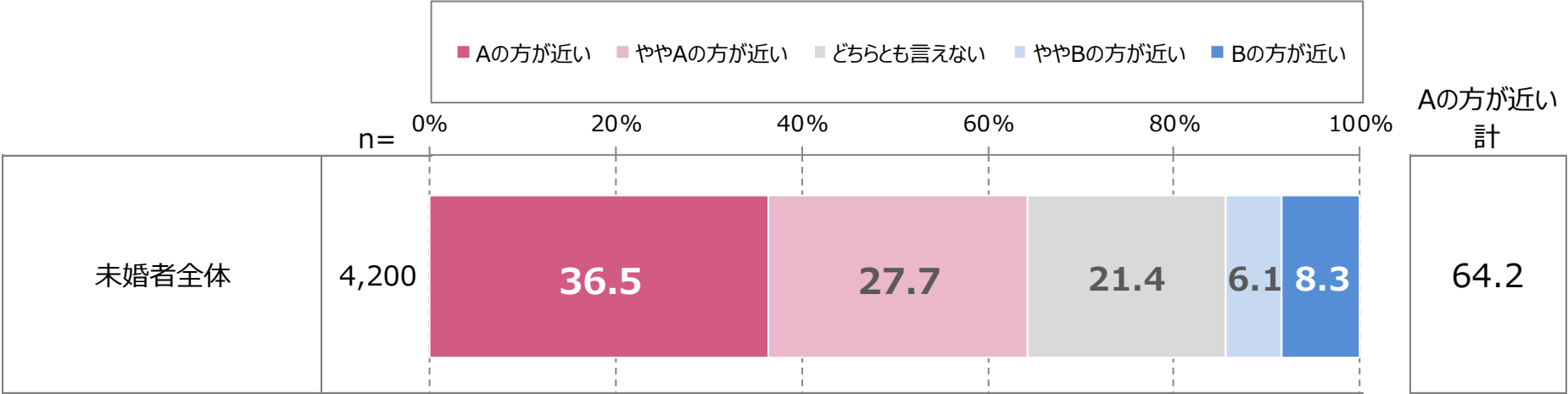
- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2016年3月19日（土）～2016年3月29日（火）
- 調査対象：全国の20～49歳の男女
- サンプル数：50,000人（調査にて87,570人を回収し、未既婚×性別×年代状況別の人口構成に合わせ50,000人を抽出した）※人口構成比：平成22年総務省統計局国勢調査より

【2次調査】

- 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- 調査期間：2016年3月25日（金）～2016年3月29日（火）
- 調査対象：共通条件：全国の20～49歳の男女で現在独身者 ※結婚経験者（離別・死別）含む
個別条件：婚活サービス利用者（現在利用者・過去利用者）：直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人
婚活サービス非利用者：「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人
- サンプル数：2,400人（婚活サービス利用有無・性別・年代・未婚状況別の人口構成に合わせウェイトバックを実施）※人口構成比：平成22年総務省統計局国勢調査より
※20～49歳の独身者男女に絞って集計を実施

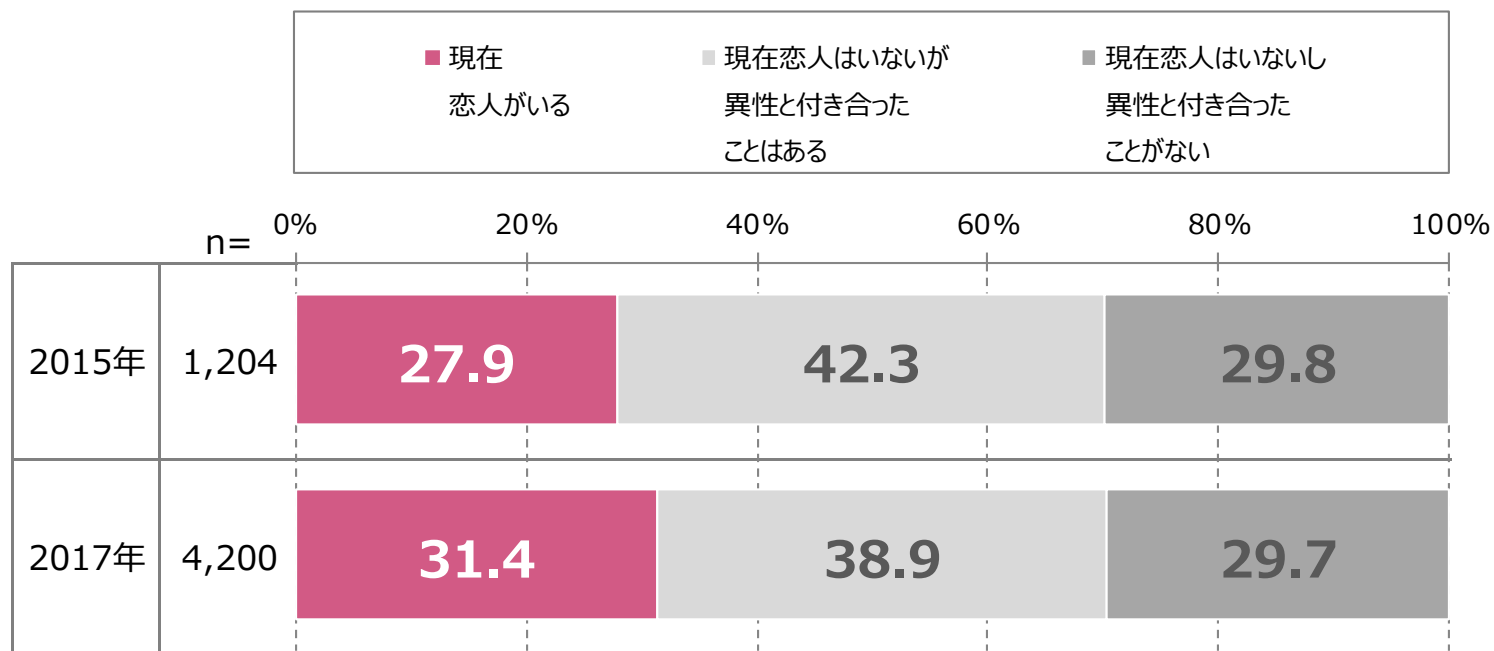
未婚者全体の恋愛意欲の状況

■ 次のことについて現在あなたはどのように思いますか。あなたの考え方により近いものをそれぞれお答えください。
【A：（いずれは）恋人は欲しい／欲しかった ⇔ B：恋人は欲しくない／欲しくなかった】



(参考) 未婚者全体の恋人有無の状況【経年比較】

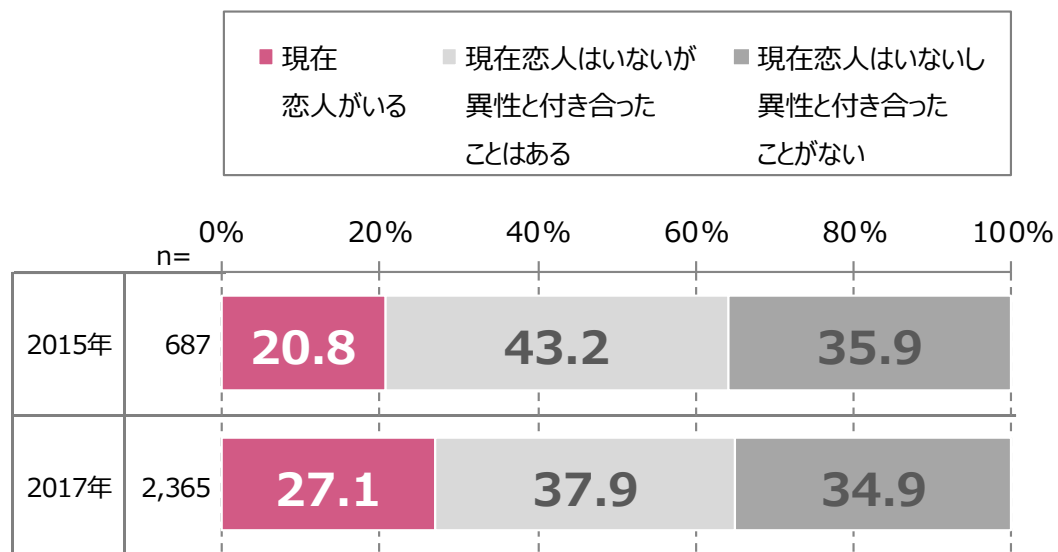
■ あなたは現在、恋人はいますか？あてはまるものをお答えください。



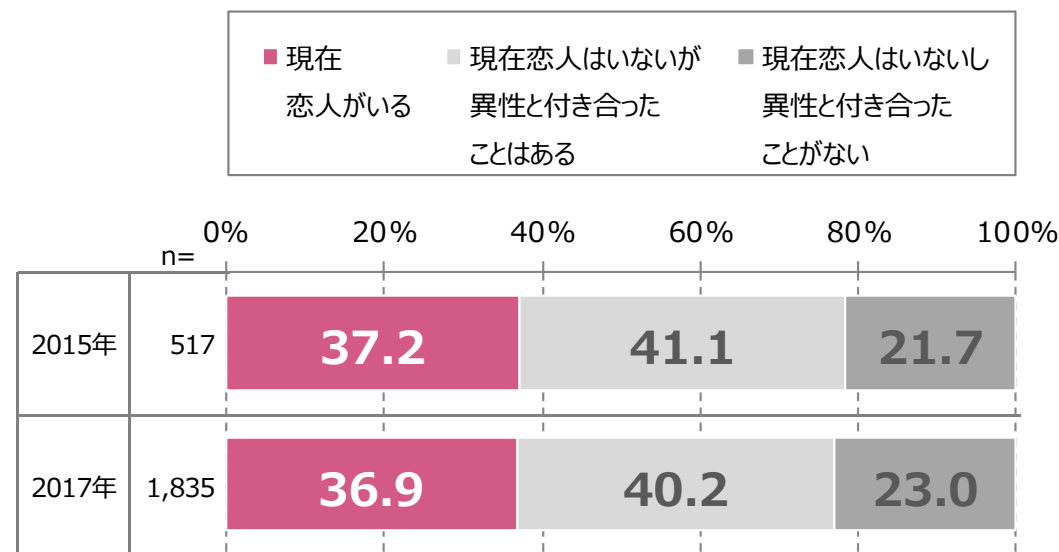
(参考) 未婚者の恋人有無の状況【男女別経年比較】

■ あなたは現在、恋人はいますか？あてはまるものをお答えください。

男性

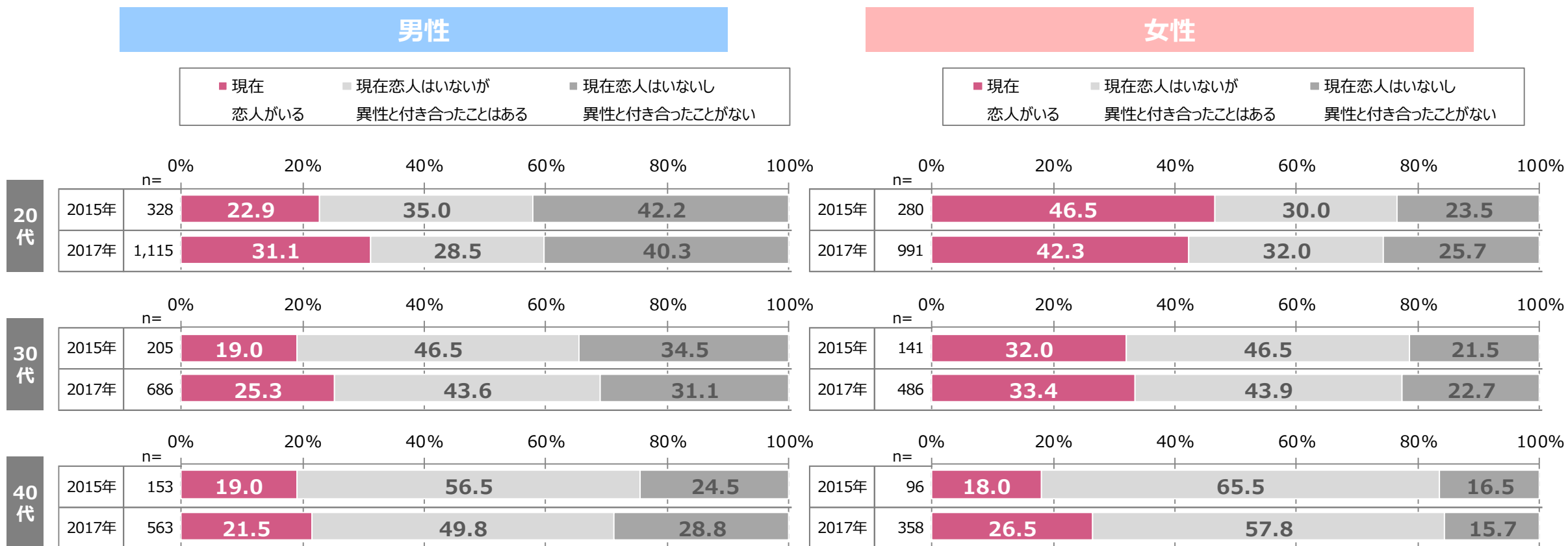


女性



(参考) 未婚者の恋人有無の状況【性年代別経年比較】

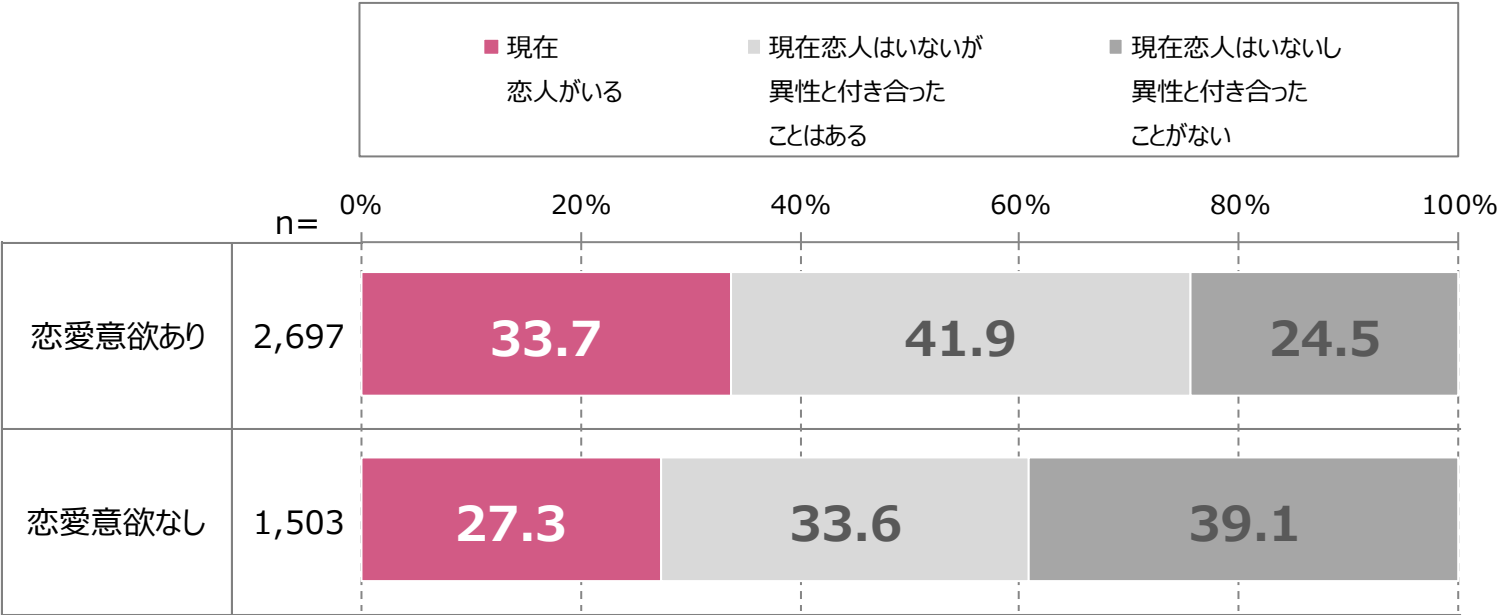
■ あなたは現在、恋人はいますか？あてはまるものをお答えください。



「恋愛・結婚調査2017」(リクルートブライダル総研)より
「恋愛・婚活・結婚調査2015」(リクルートブライダル総研)より

恋愛意欲あり・なし別の恋人有無の状況

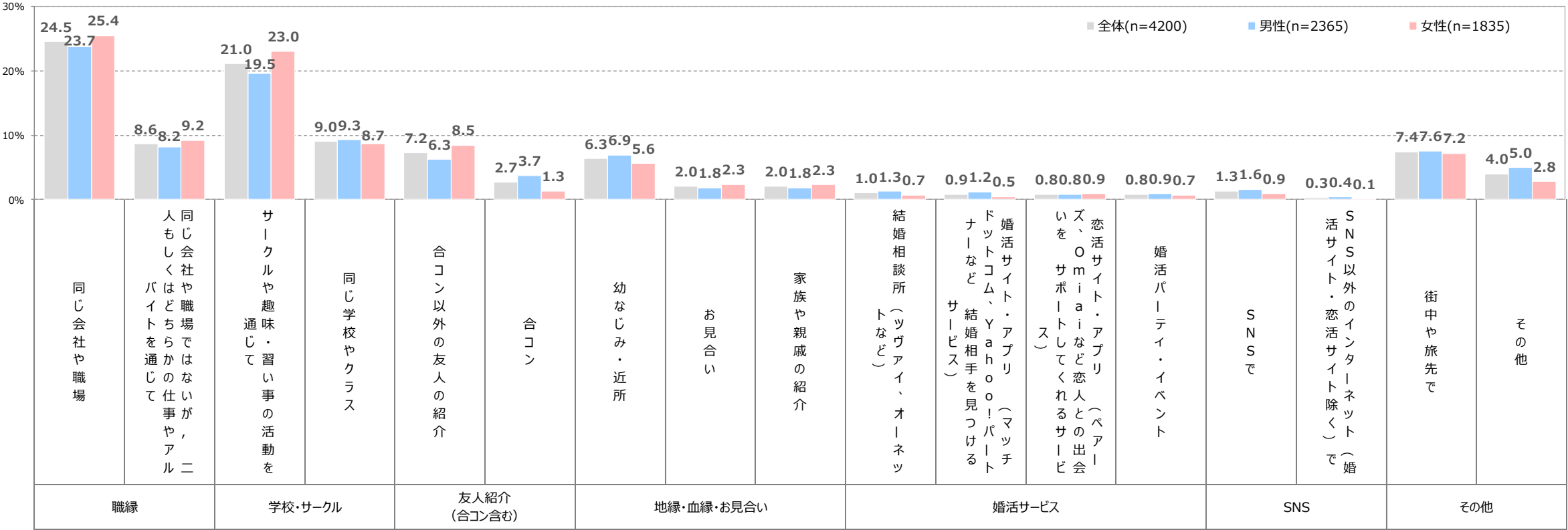
■ あなたは現在、恋人はいますか？あてはまるものをお答えください。



「恋愛・結婚調査2017」（リクルートブライダル総研）より

最も理想的な出会い方

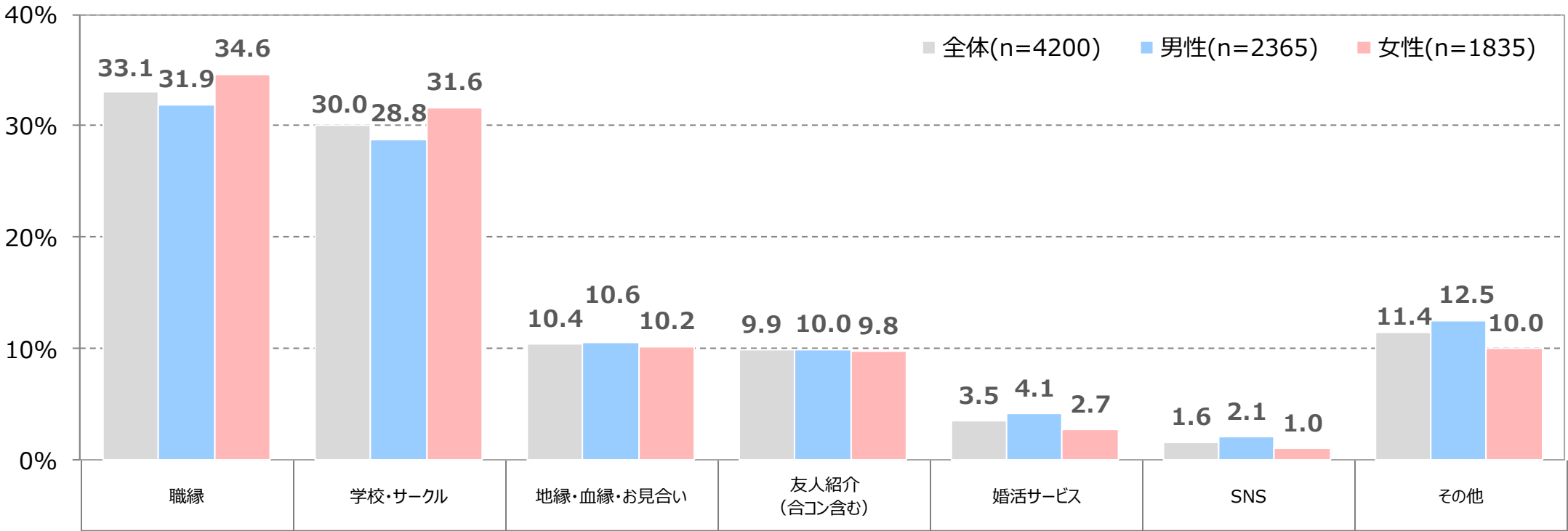
■あなたが思う「恋愛・結婚相手」との出会い方についてお聞きます。以下の出会い方について、各項目それぞれにあてはまるものをお答えください。
【恋愛・結婚相手との最も理想的な出会い方（1つだけ）】



最も理想的な出会い方【出会い方分類別】

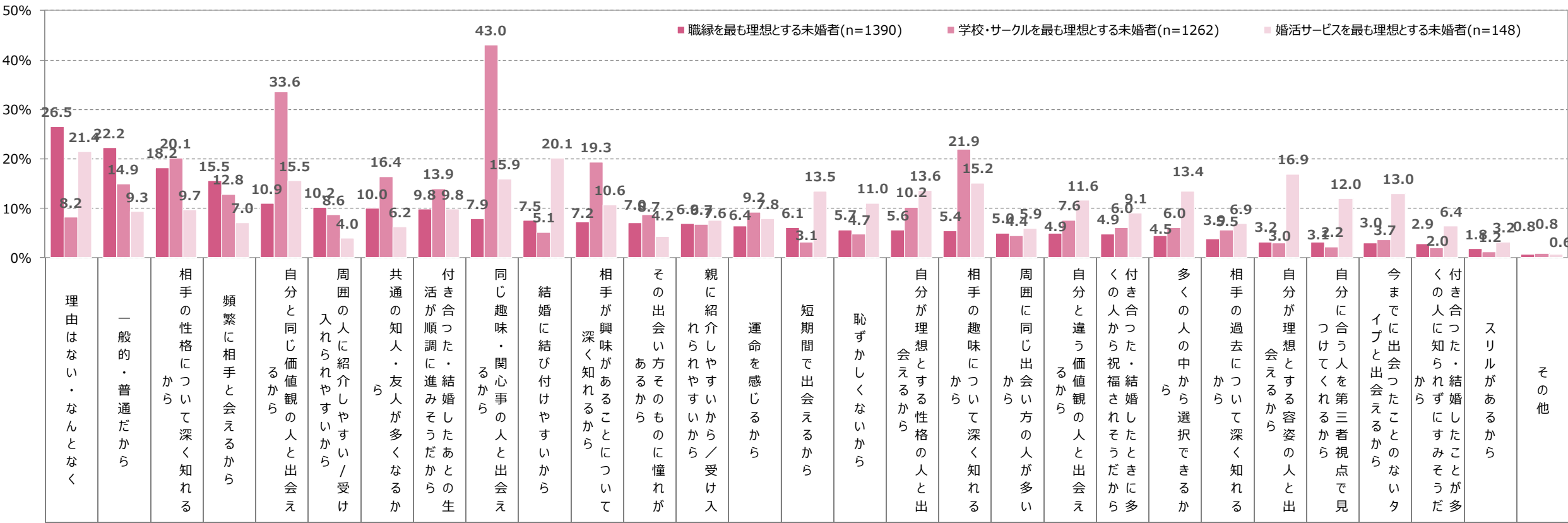
※前頁を出会い方分類ごとにまとめたもの

■あなたが思う「恋愛・結婚相手」との出会い方についてお聞きます。以下の出会い方について、各項目それぞれにあてはまるものをお答えください。
【恋愛・結婚相手との最も理想的な出会い方（1つだけ）】
※前頁の出会い方ごとカテゴリ集計版



希望の出会い方を望む理由

■前問で選んだ「恋愛・結婚相手」との最も理想的な出会いについてお聞きます。
その出会い方を、最も理想的な出会いに選んだ理由は何ですか。（複数回答）



※「職縁を最も理想とする未婚者」のスコアで降順ソート

「幸福」に影響を与える要因について

■『現在の自分の状態に対する自己評価』の因子分析と『現在の幸せ感』との相関(単一回答)

- ・以下の項目についてあなたはどの程度あてはまりますか。(よくあてはまる/ある程度あてはまる/どちらともいえない/あまりあてはまらない/まったくあてはまらない の5段階の単一回答)
- ・5段階の回答に対して得点を与え、因子分析を行った。(SPSSを使用し、主因子法・プロマックス回転を用いた)

	因子負荷量				
	1	2	3	4	5
自分が社会から必要とされている自覚がある	0.835	0.001	-0.088	0.084	0.013
周囲の人や仲間から一目置かれている	0.733	0.005	0.078	-0.079	0.042
社会的に一人前であるという実感を持っている	0.657	-0.019	-0.084	0.201	0.044
周囲の人や仲間から感謝される機会が多い	0.639	0.324	0.009	-0.108	-0.039
自分が世の中に貢献できていると思う	0.603	0.085	0.123	0.105	-0.109
将来に生かせる技術や知識を身につけている	0.583	-0.164	0.256	0.122	-0.052
周囲の人や仲間の成長を手助けできている	0.483	0.341	0.098	-0.088	0.031
成功や成長と一緒に喜べる人や仲間がいる	0.053	0.762	-0.105	0.115	0.003
何をさておいても守りたい人や仲間がいる	-0.102	0.759	-0.038	0.094	-0.076
周囲の人や仲間と深い関係を築けている	0.175	0.641	0.054	-0.118	0.106
周囲の人や仲間のことをよく理解することができる	0.157	0.590	0.160	-0.090	-0.010
周囲の人や仲間と、自分がどんな人間かを理解してもらっている	0.168	0.533	-0.057	0.041	0.127
難しいことに挑戦することもない	0.220	-0.171	0.783	-0.083	0.033
自分の知らないことや世界に出会うワクワクする	-0.117	0.179	0.606	0.127	-0.119
リスクを恐れず最初の一步を踏み出すことができる	0.207	-0.138	0.599	0.045	0.116
成功や失敗に関わらず、次の機会に生かすことができる	0.096	0.135	0.438	0.216	-0.025
過去の経験にとらわれずに物事に関わることができる	0.176	0.041	0.384	0.050	0.176
ものの見方や考え方が大きく変わった経験がある	-0.096	0.322	0.379	0.188	-0.277
理屈の通じない相手でも受け入れることができる	0.167	0.106	0.376	-0.239	0.269
多少困ったときでも、「何とかする」と思える	-0.178	0.160	0.349	0.308	0.154
自分で自分の生き方を選んでいる	-0.046	0.015	0.066	0.708	0.059
自分の人生を自分で作っているという実感がある	0.315	-0.051	-0.025	0.643	-0.033
自分らしいライフスタイルや生活を送ることができる	-0.023	0.105	-0.023	0.604	0.189
自分の世界や得意なことを見つけている	0.158	0.026	0.318	0.383	-0.109
今後進んでいく方向が明確である	0.294	0.008	0.061	0.328	0.174
今後、自分の人生が徐々に良くなっていくだろうという希望を持っている	0.183	0.120	0.057	0.265	0.248
努力すればいつか報いられるだろうと思っている	0.171	0.245	0.100	0.229	0.013
悩みや不安の少ない生活を送っている	-0.058	-0.066	0.002	0.064	0.871
経済的な不安や心配事が少ない	0.213	-0.051	-0.104	0.031	0.655
ストレスを発散できる生活を送っている	-0.163	0.131	0.008	0.375	0.465

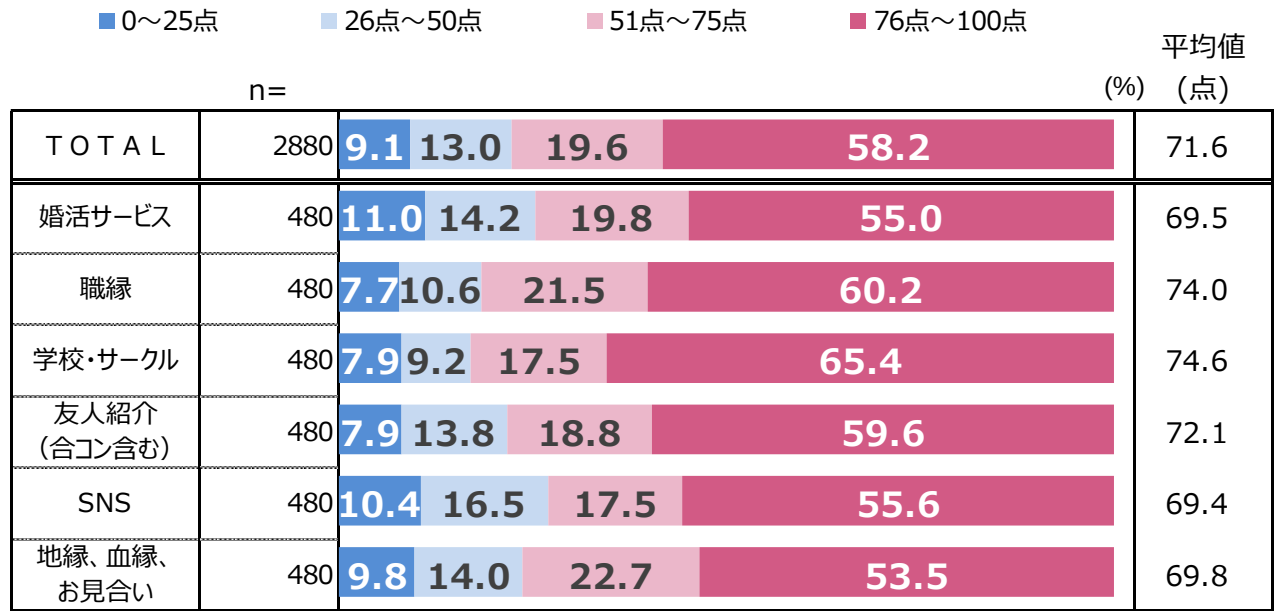
※主因子法・プロマックス回転 ※因子負荷量が ■ 0.7以上 ■ 0.5以上 ■ 0.3以上のものに網掛け

『現在の自分の状態に対する自己評価』因子	承認	愛情	自信	自律選択	平穩
	社会の一員として承認されている実感	お互いに深く理解し助け合える人があるという実感	困難に挑戦して克服できるという自信	自律的に選択した人生を過ごしている充足感	ネガティブな要素が少ない生活を送れている実感
『現在の幸せ感』との相関係数	0.44	0.55	0.40	0.60	0.56

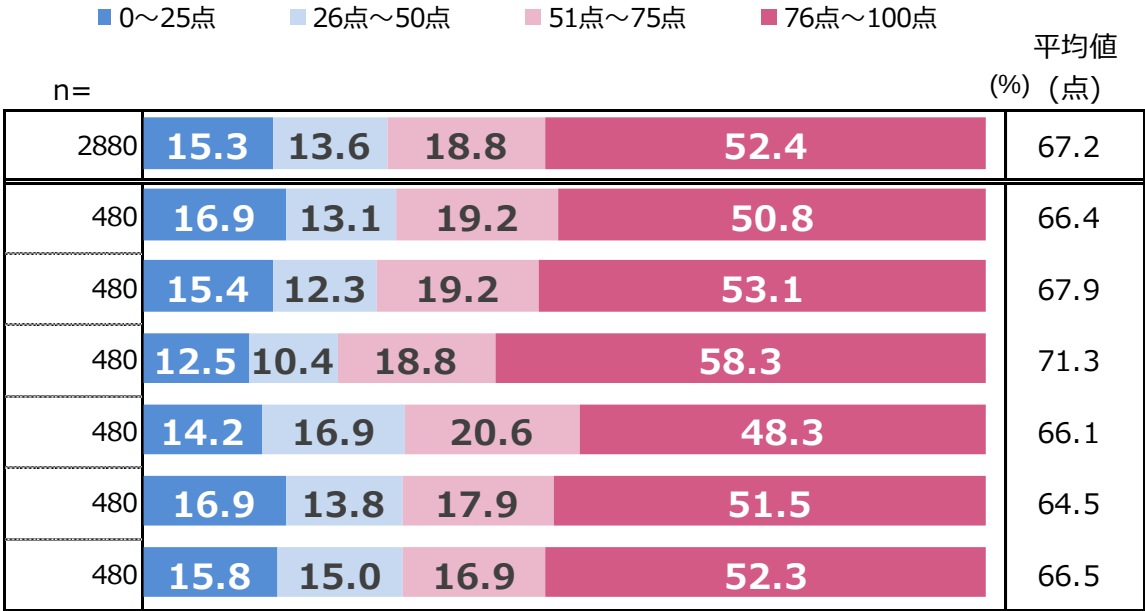
出会い方ごとにみる結婚前後ギャップ

■現在の結婚相手との以下のことに点数をつけると何点ぐらいですか。点数は、0～100点でお答えください。離別による独身の方は、直近の結婚相手と交際していた時のことについてお答えください。
【交際時の相手との関係】【現在の夫婦関係】

交際時の相手との関係



現在の夫婦関係



出会い方による実現度の違い

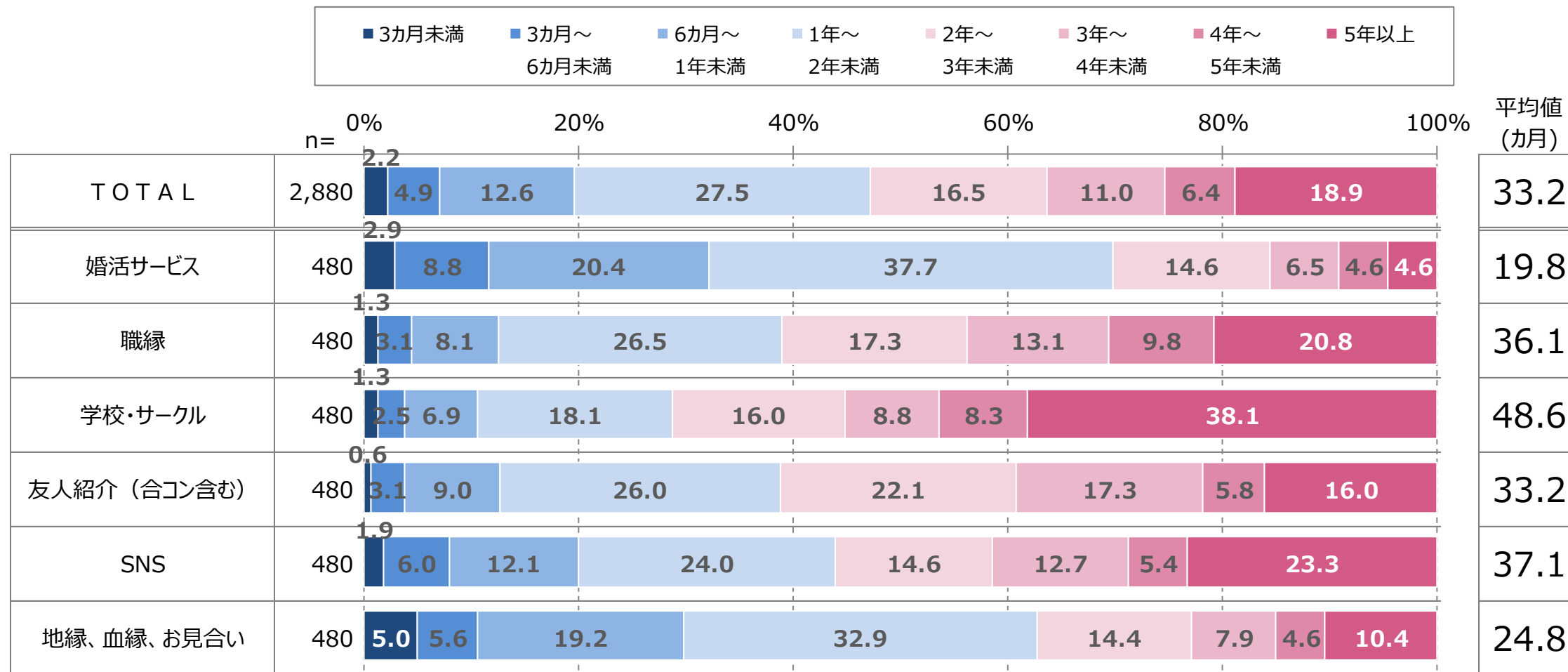
※「職縁」「学校・サークル」「婚活サービス」の3区分の中で最も高いスコアに色づけ

■ 現在恋人がいる方は、「恋人が持っている・兼ね備えていると思うもの」をすべてお答えください。
【今の恋人が希望に合致している・兼ね備えているもの（すべて）】

	「職縁」で 出会った恋人	「学校・サークル」で 出会った恋人	「婚活サービス」で 出会った恋人	
n=	408	332	136	
出生順位（長男、長女、次女、次男など）	1.8	1.5	0.9	(%)
性格が合うこと	40.6	50.6	43.7	
あなたに対する愛情	26.7	35.0	30.6	
容姿	24.7	27.1	25.1	
共通の趣味	13.5	26.6	21.1	
お金に関する考え方（金銭感覚）が合うこと	15.7	20.7	17.0	
家事の能力	14.4	19.0	17.4	
体の相性	17.1	17.7	17.1	
学歴	5.5	15.6	7.9	
親を大切にするなど、育ってきた家庭環境の良さ	8.8	14.8	14.5	
時間に関する考え方（時間感覚）が合うこと	8.8	13.2	11.8	
自分が属するコミュニティ（家族や友達関係など）と相手の仲が良い	2.2	5.9	3.4	
家柄のよさ	1.9	3.3	2.3	
人柄の良さ	60.0	68.3	72.3	
食の嗜好の相性	14.0	16.6	27.2	
自分の仕事への理解	18.0	22.5	26.3	
恋愛に関する考え方（恋愛観）が合うこと	13.6	21.4	22.6	
収入（年収）	8.8	9.1	21.7	
職業	8.1	7.9	21.7	
恋人の年齢	10.2	14.9	21.0	
二人でともに過ごす人生に関する考え方（人生観・将来設計）が合うこと	14.5	15.5	18.0	
結婚に関する考え方（結婚観）が合うこと	9.7	15.2	17.1	
望む家族構成など家族・家庭に関する考え方（家族計画）が合うこと	7.4	8.5	13.0	
育児・教育方針など子育てに関する考え方（子育て観）が合うこと	5.2	5.7	10.4	
貯蓄	6.1	6.3	8.2	
「男は（女は）こうあるべき」など、男女に関する考え方（男女観）が合うこと	4.6	5.0	7.5	
親との同居に関する考え方（同居意識）が合うこと	2.5	3.1	5.8	
相手が属するコミュニティ（家族や友達関係など）と自分の仲が良い	1.8	2.6	4.0	
その他	0.2	0.0	0.0	
特になし	20.0	10.0	12.1	

出会い方による結婚までのスピード

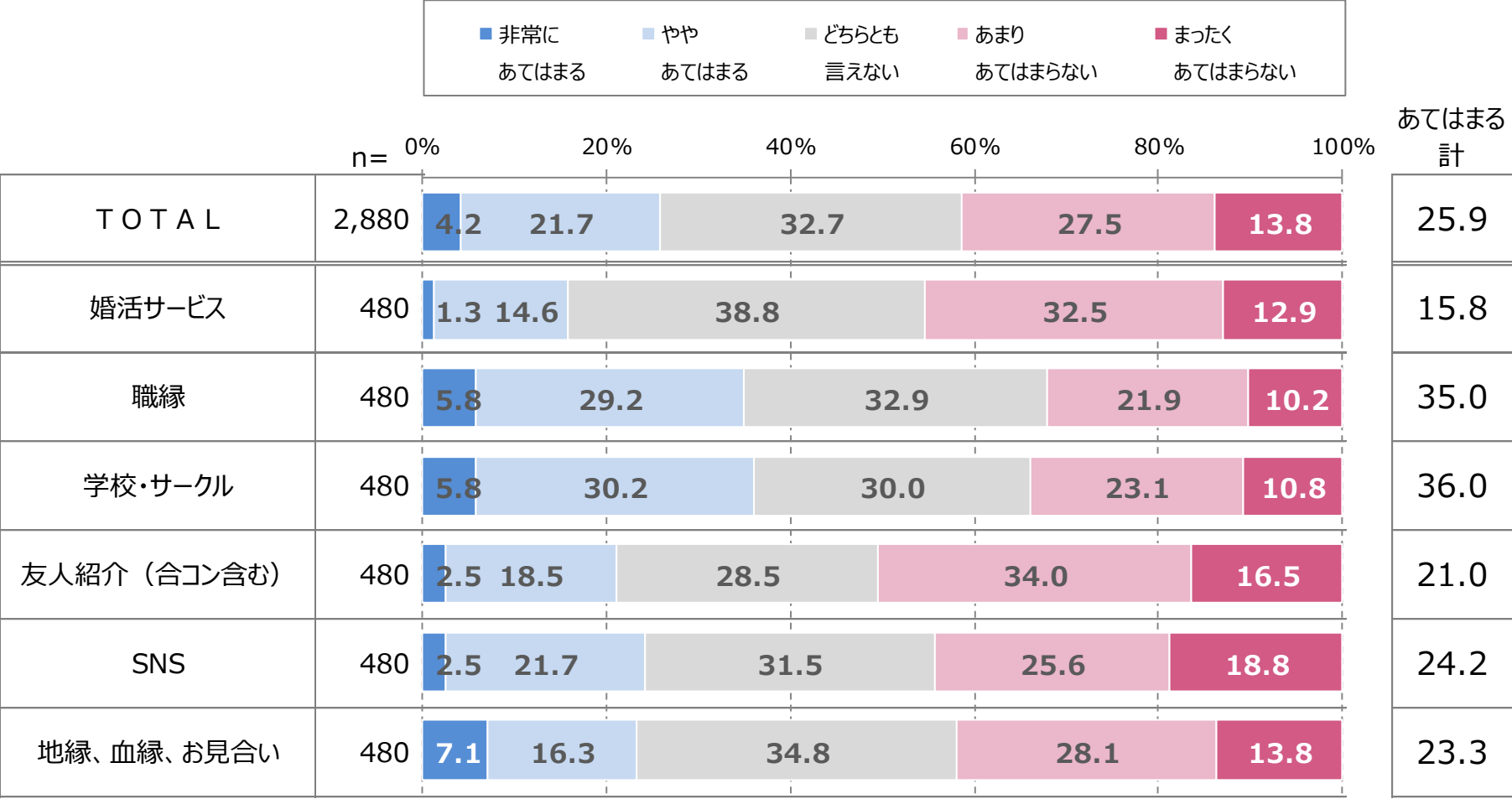
■あなたと現在の結婚相手の以下の期間はどれくらいでしたか。離別による独身の方は、直近の結婚相手とのことについてお答えください。
【恋人としてお付き合いをはじめてから結婚するまで】



「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

出会い方ごとの特性【交際前から相手の性格を分かっていた】

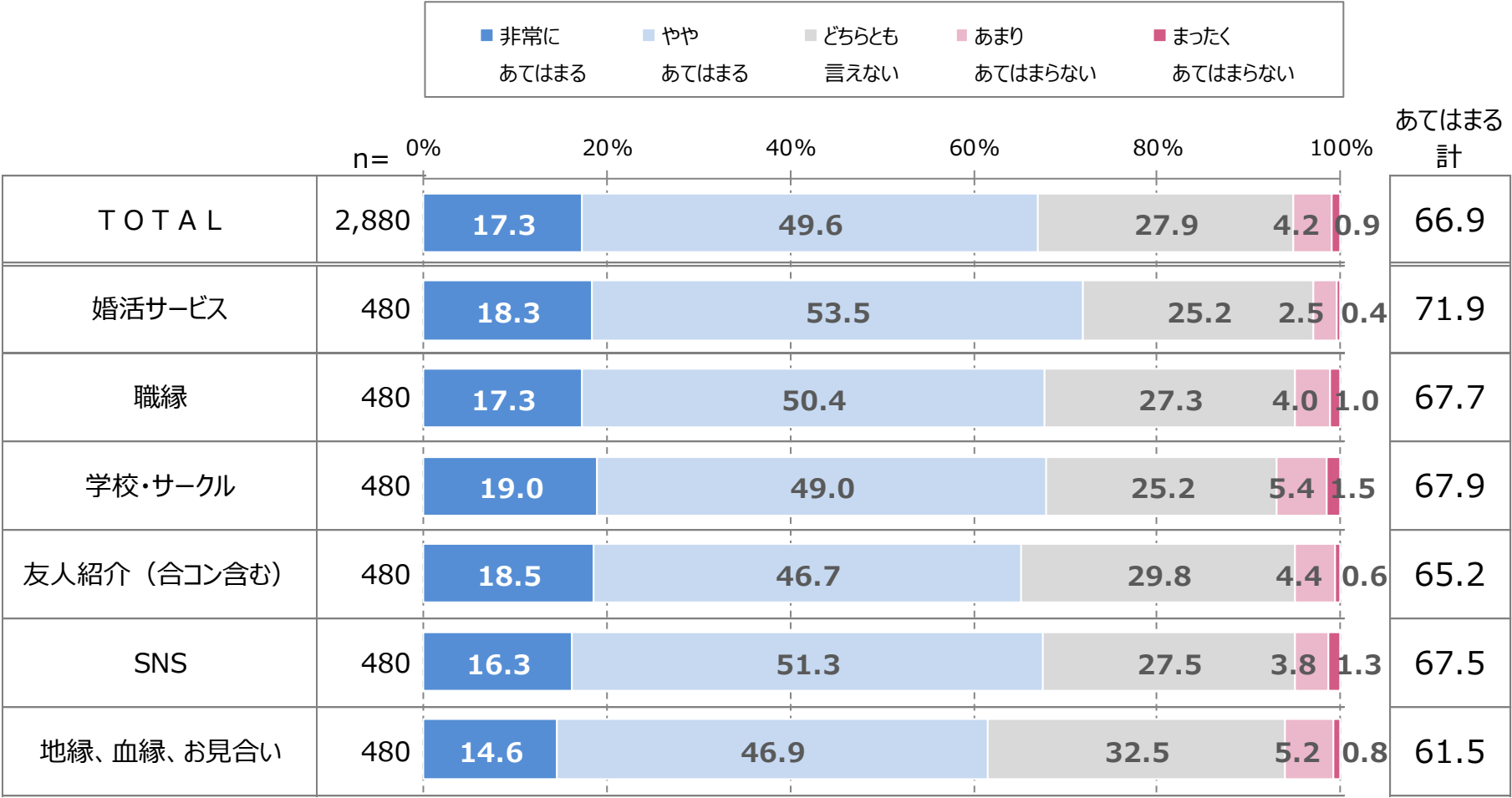
■その結婚相手・恋人との交際において、ご自身が感じたことや起こったことについて、お答えください。
【交際前から、相手の性格を分かっていた】



「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

出会い方ごとの特性【相手のことを知っていく楽しみがあった】

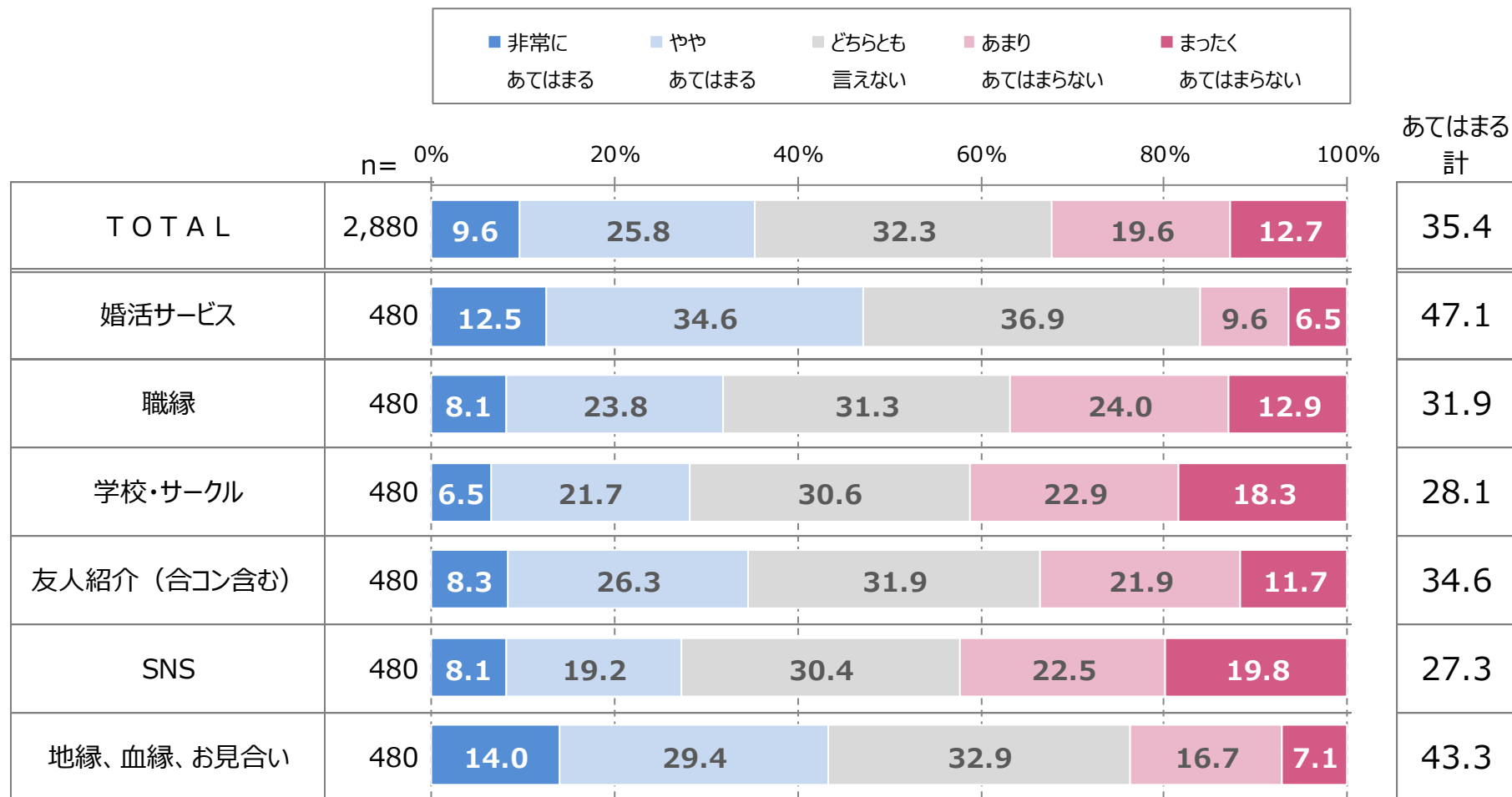
■ その結婚相手・恋人との交際において、ご自身が感じたことや起こったことについて、お答えください。
【交際していく中で、相手のことを知っていく楽しみがあった】



「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

出会い方ごとの特性【交際前から結婚意志の有無を知っていた】

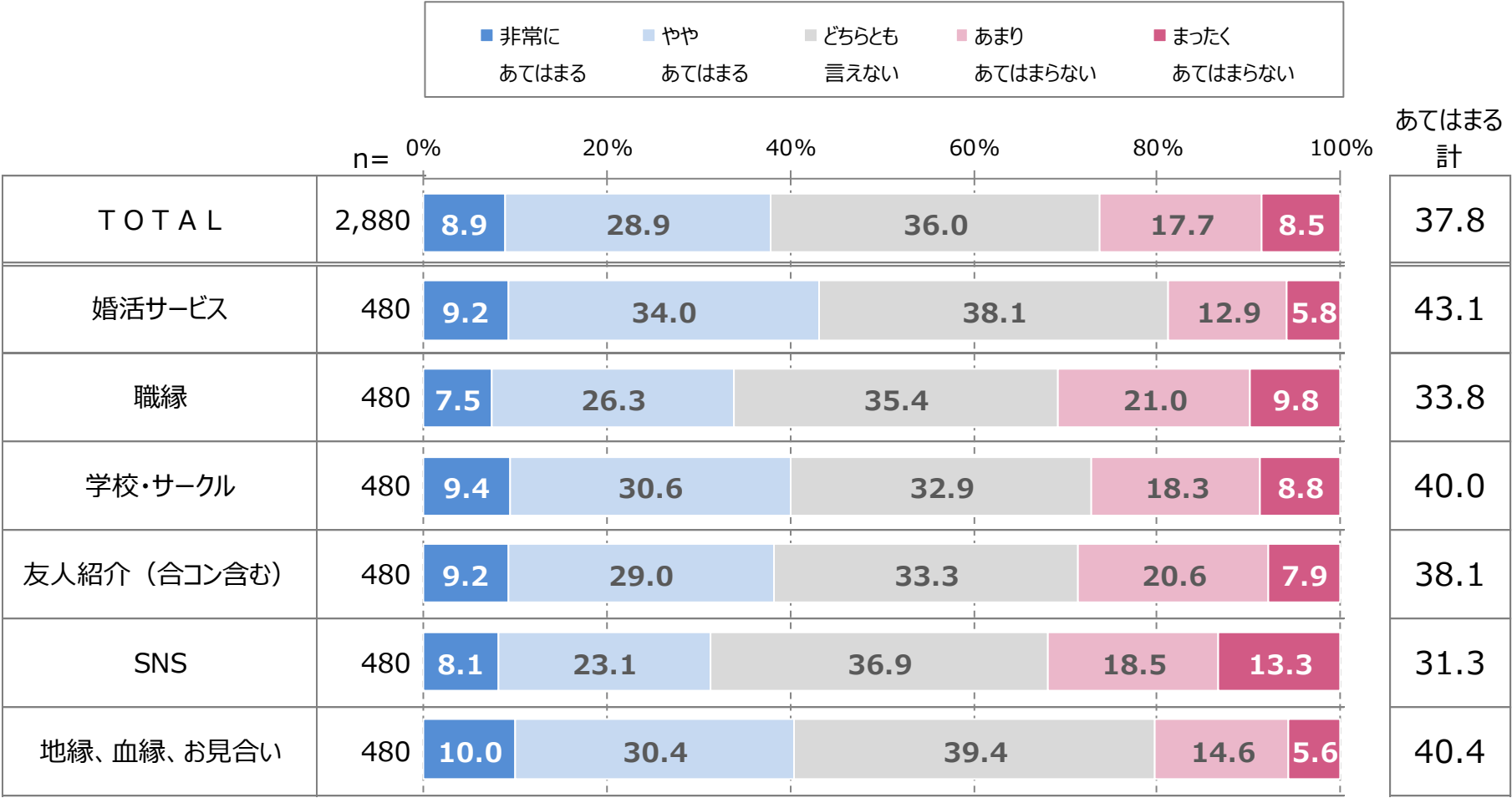
■その結婚相手・恋人との交際において、ご自身が感じたことや起こったことについて、お答えください。
【交際する前から、相手が結婚したいかどうか知っていた】



「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

出会い方ごとの特性【結婚に向かっている安心感があった】

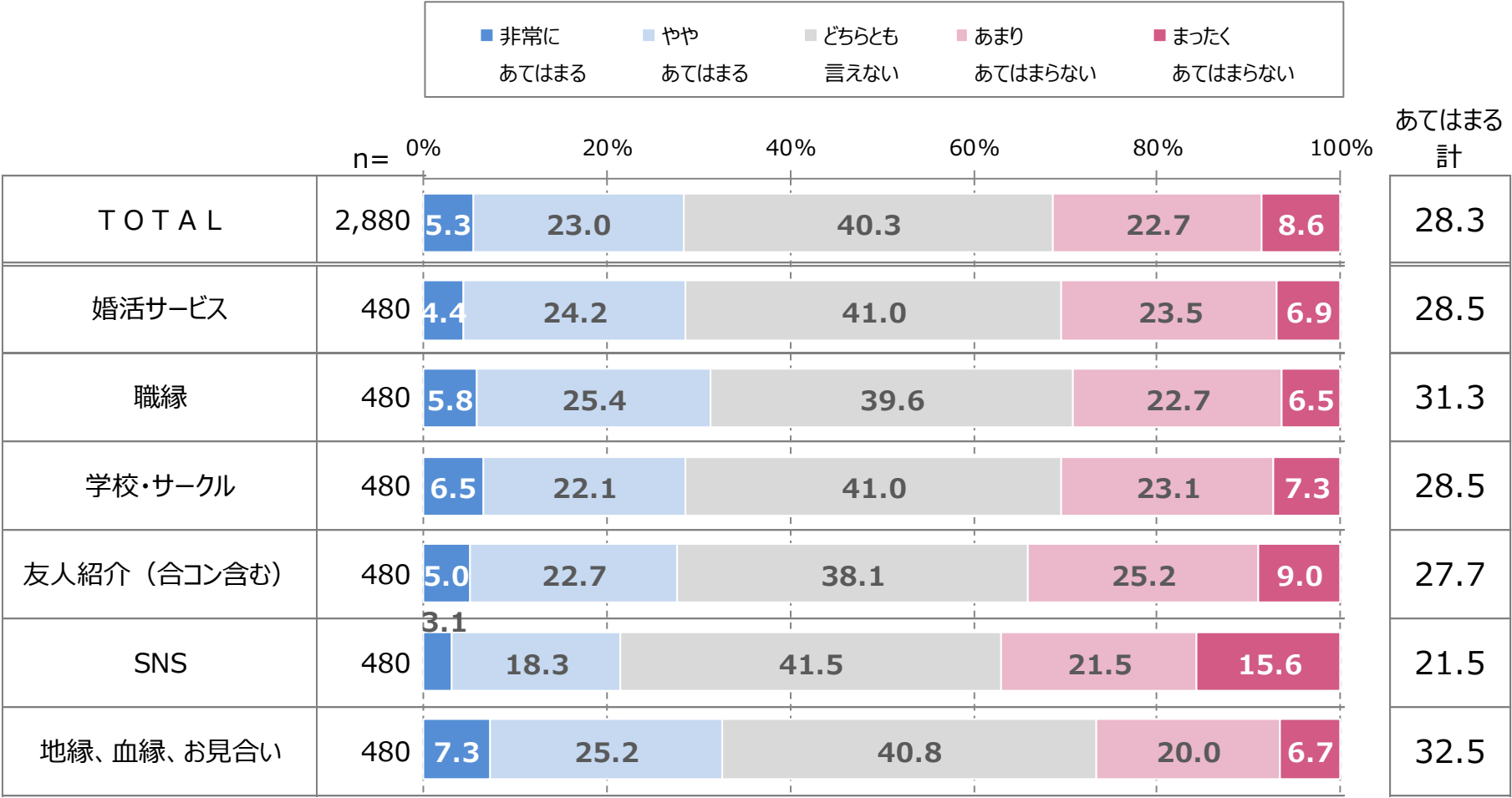
■その結婚相手・恋人との交際において、ご自身が感じたことや起こったことについて、お答えください。
【交際中、結婚に向かっているという安心感があった】



「出会い方の違いによる影響性調査2017」(リクルートブライダル総研)より

出会い方ごとの特性【結婚相手として適しているかどうか、すぐに判断がついた】

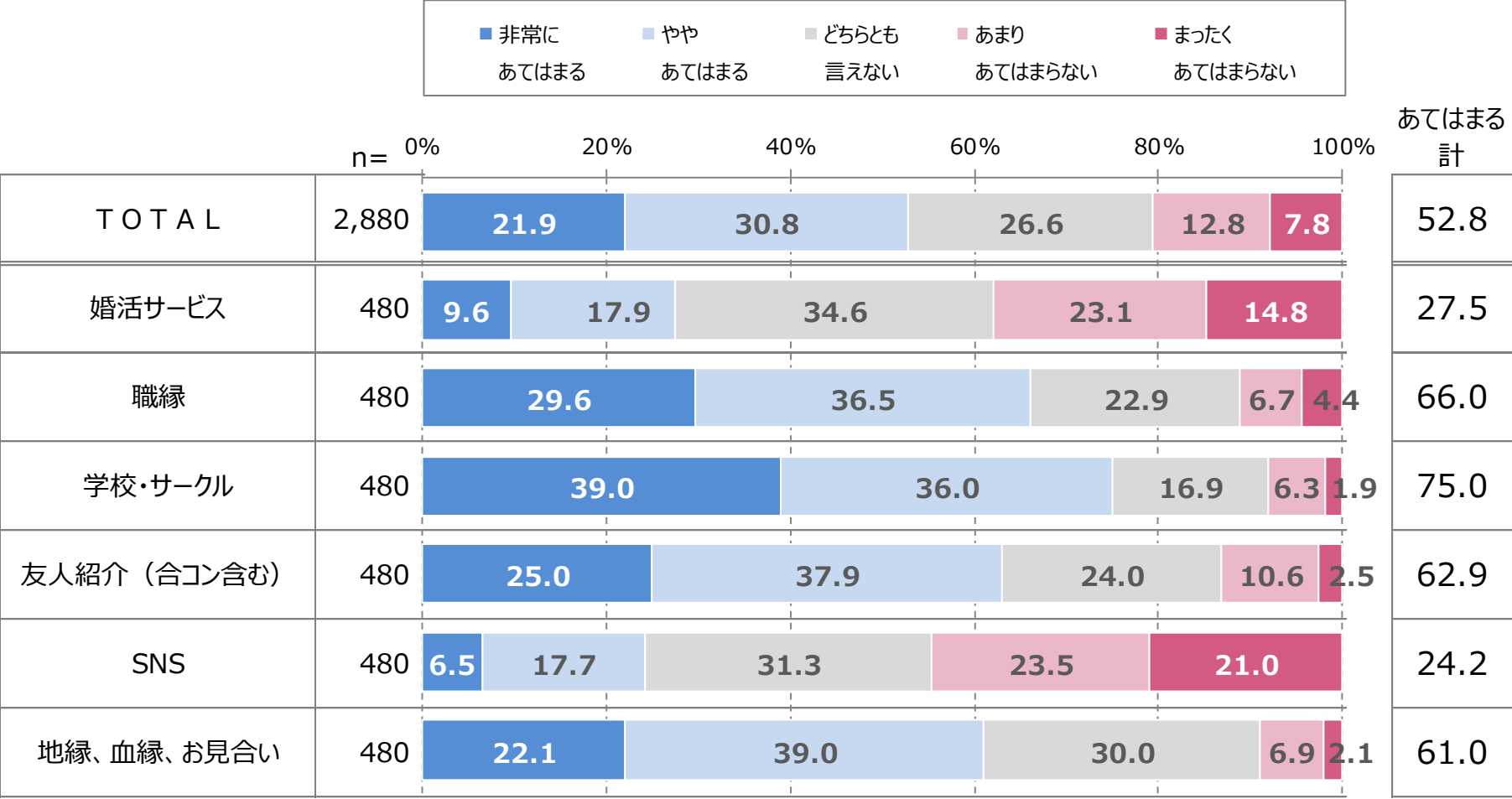
■ その結婚相手・恋人との交際において、ご自身が感じたことや起こったことについて、お答えください。
【結婚相手として適しているかどうか、すぐに判断がついた】



「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

出会い方ごとの特性【出会ったきっかけを親や友人に堂々と言えた】

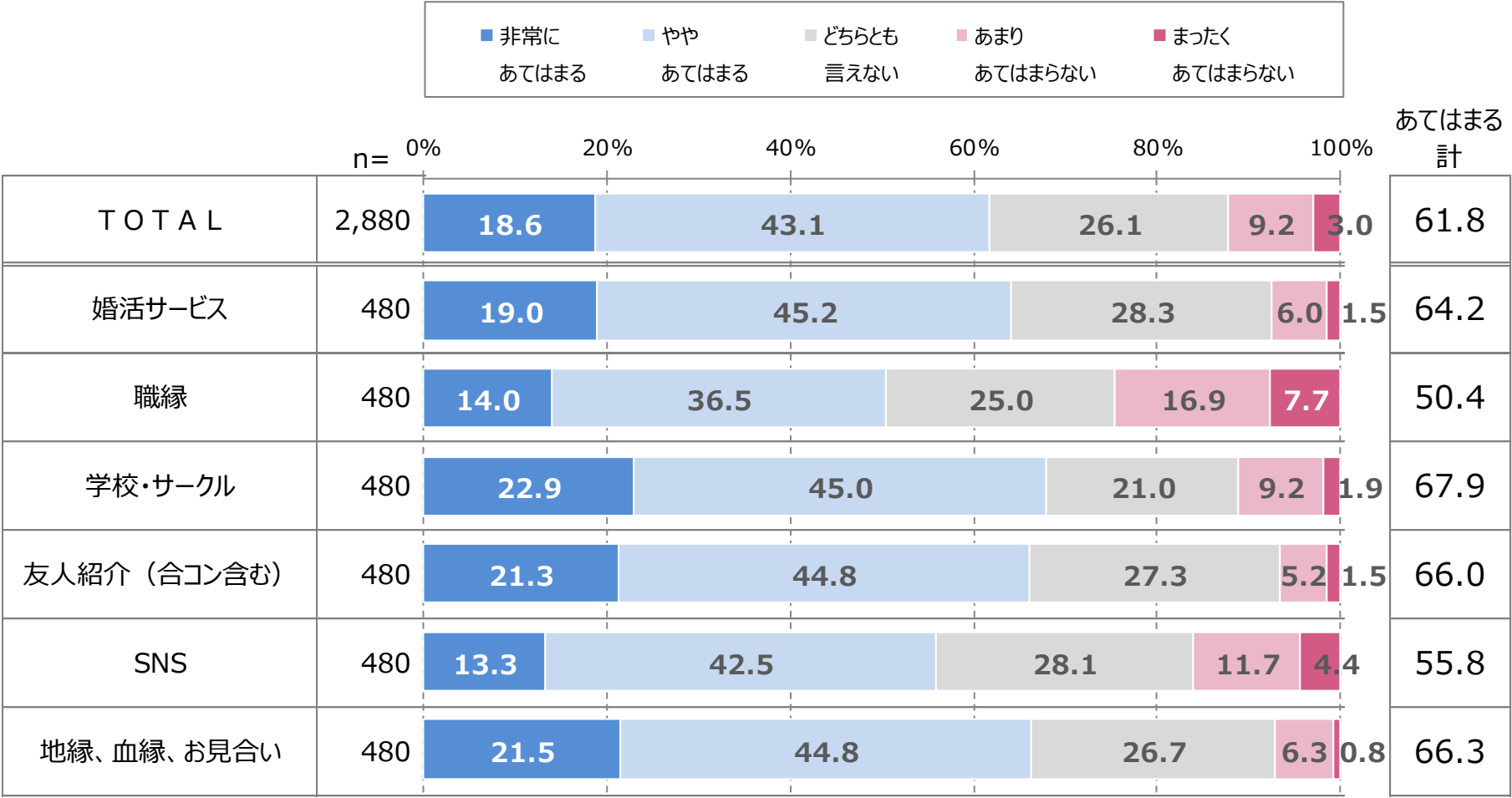
■その結婚相手・恋人との交際において、ご自身が感じたことや起こったことについて、お答えください。
【出会ったきっかけを親や友人に堂々と言えた】



「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

出会い方ごとの特性【周囲に気兼ねなく交際できた】

■ その結婚相手・恋人との交際において、ご自身が感じたことや起こったことについて、お答えください。
【周囲に気兼ねなく交際できた】

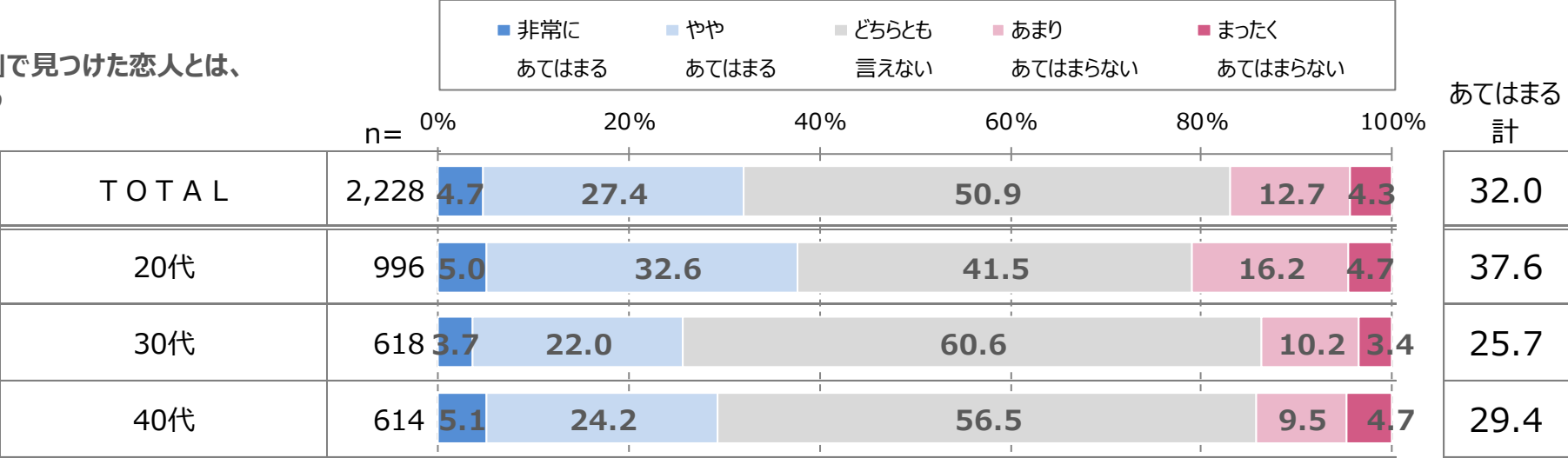


「出会い方の違いによる影響性調査2017」（リクルートブライダル総研）より

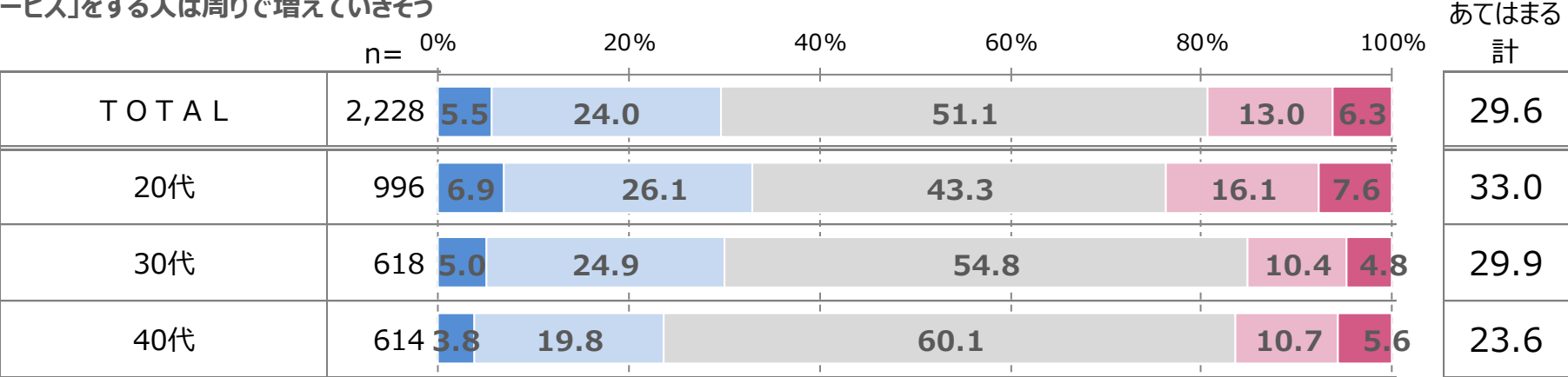
婚活サービスに対するイメージ

■「婚活（恋活）サービス」についてのお考え方をお聞きます。
それぞれについてあなたのお考えにあてはまるものをお答えください。

「婚活（恋活）サービス」で見つけた恋人とは、
趣味や関心事が合いそう



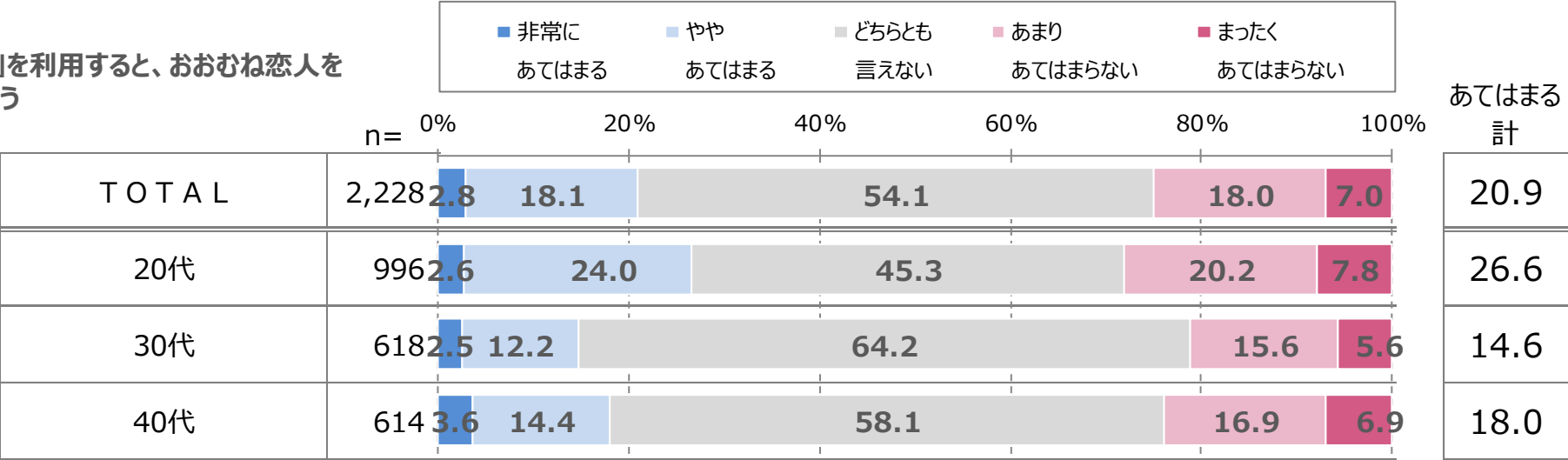
今後、「婚活（恋活）サービス」をする人は周りで増えていきそう



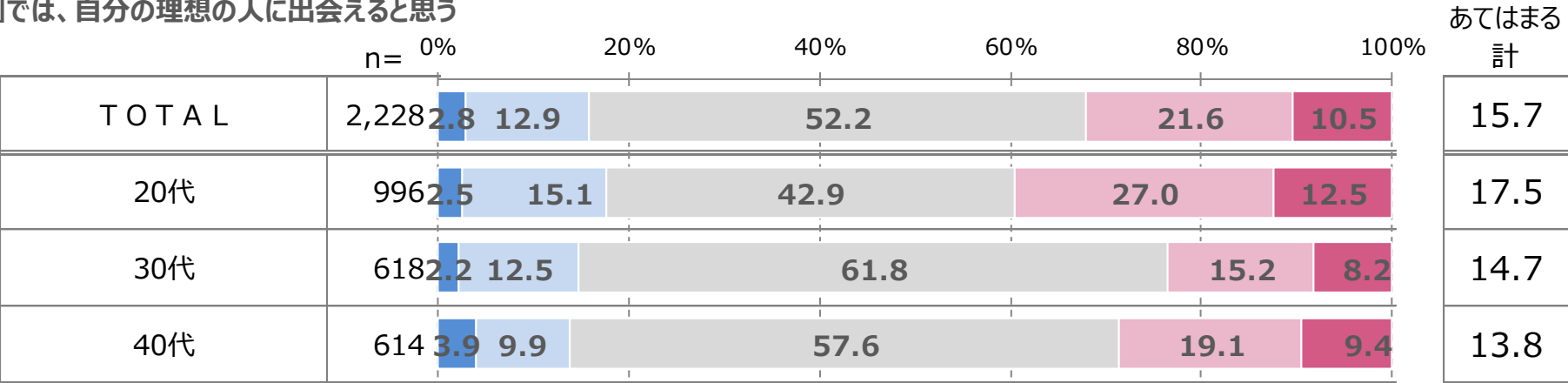
婚活サービスに対するイメージ

■「婚活（恋活）サービス」についてのお考え方をお聞きます。
それぞれについてあなたのお考えにあてはまるものをお答えください。

「婚活（恋活）サービス」を利用すると、おおむね恋人を見つけることができると思う



「婚活（恋活）サービス」では、自分の理想の人に出会えると思う



- ◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、“自律的出会いの提言レポート2017(リクルートブライダル総研調べ)”と明記いただきますようお願い申し上げます。
- ◆ 「少子化課題における解決優先度に関するレポート2016」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/